

# PARKING

No.254

2026.4

令和8年新春駐車場研修会開催報告  
令和8年春季駐車場研修会参加レポート  
情報発信「アンテナ」(第27回)  
「当社の機械式駐車設備の将来予想」  
～台湾市場からみえるものの一考察～

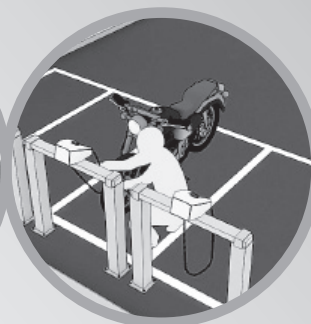
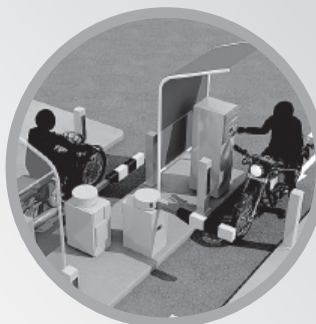


# 先進技術がつくる、 安心・安全のパーキングシステム

ロック板  
システム



車番認識  
システム



駐輪・駐バイク  
システム



車路管制  
システム

\* 駐車場の運営管理についても私たちにご相談ください。

創造と信頼で未来をひらく  
**三菱フレンジョン株式会社**

本社・営業本部  
〒108-0075 東京都港区港南1-6-41  
芝浦クリスタル品川8階  
<https://www.mpcnet.co.jp>

お問合せ先

駐車場システム営業部 ☎03-6712-1732

中部支社	052-961-3557	静岡営業所	054-204-4505
関西支社	06-6484-7206	中四国営業所	082-546-2176
北海道営業所	011-213-7826	九州営業所	092-273-0880
東北営業所	022-216-4615		

機械式

# 駐車場・駐輪場の メンテナンス

・ 定期点検 ・ 緊急出動 ・ 故障修理

- 日本全国OK !!
- 24時間365日OK !!
- 大小問わずOK !!
- 合理的な料金でOK !!

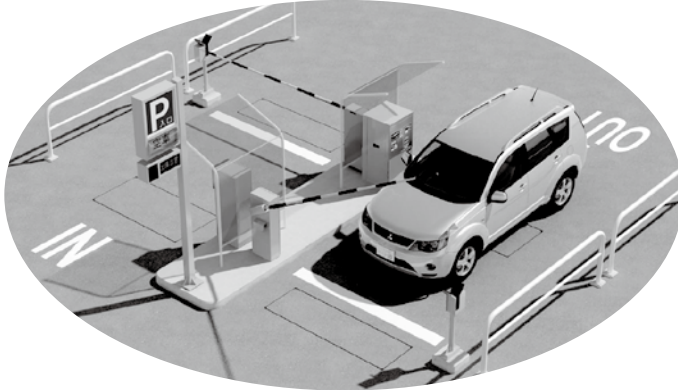
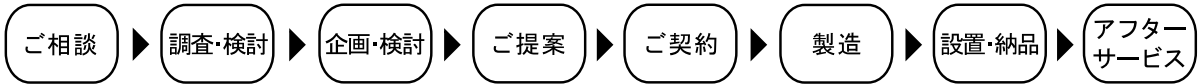
遠隔監視システム  
での無人管理OK



一般社団法人東京駐車場協会賛助会員

【お問い合わせ】 日本駐車場救急サービス株式会社

# パーキングシステムソリューションをご提案、富士ダイナミクス



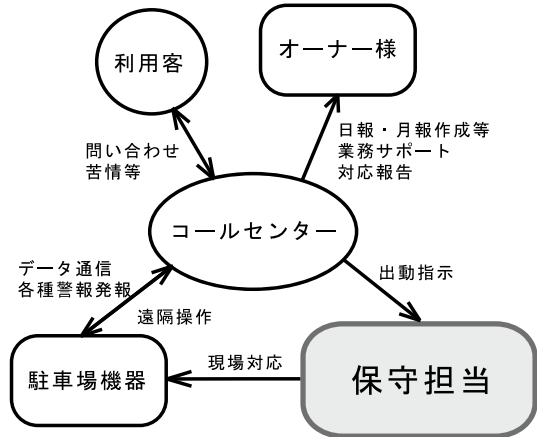
24Hr. 365日対応

駐車場メンテナンスサービス

コールセンターシステム フェイス-

## FACE

*Fuji-Dynamics Advanced Callcenter in Every way*



三菱プレジジョン (株) 代理店

株式会社 富士ダイナミクス

技術/信用/実績でお応えします。

# FDC

ホームページ <http://www.fuji-dynamics.co.jp/>

- |              |  |             |  |          |  |
|--------------|--|-------------|--|----------|--|
| ●本社          | 東京都目黒区青葉台1-28-9<br>TEL 03 (3793) 5411                  | ●営業本部       | 東京都目黒区東山1-4-4<br>目黒東山ビル4階<br>TEL 03 (3793) 7411                            | ●仙台営業所   | 仙台市太白区富沢1-11-21<br>TEL 022 (244) 5461                      |
| ●名古屋営業所      | 名古屋市瑞穂区大喜新町1-2-6<br>ロイヤル牛巻第1 2階<br>TEL 052 (883) 0700  | ●大阪営業所      | 大阪市東淀川区東中島2-9-15<br>TEL 06 (6325) 2761                                     | ●福岡営業所   | 福岡市博多区中呉服町3-10<br>勝冶呉服町ビル<br>TEL 092 (282) 3491            |
| ●丸の内サービスセンター | 東京都千代田区有楽町1-10-1<br>有楽町ビル 4階 421<br>TEL 03 (3287) 0594 | ●横浜サービスセンター | 横浜市西区みなとみらい2-2-1<br>横浜ランドマークタワー29階<br>TEL 045 (224) 2256                   | ●湘南事業所   | 鎌倉市山崎662-2<br>TEL 0467 (45) 6867                           |
| ●湘南サービスセンター  | 鎌倉市山崎 662-2<br>TEL 0467 (45) 6867                      | ●羽田サービスセンター | 東京都大田区羽田空港 3-3-2<br>東京国際空港旅客ターミナルビル<br>三菱プレジジョン株式会社内<br>TEL 03 (5756) 7245 | ●さいたま出張所 | 埼玉県さいたま市浦和区仲町1-9-1<br>浦和パーキングセンター内4F<br>TEL 048 (764) 9290 |
| ●相模原出張所      | 相模原市中央区矢部1-3-14<br>大河原ビル201号室<br>TEL 042 (730) 6611    |             |  |          |  |

人とクルマのためのエコ・パーキングシステム

# 日本信号の 駐車場・駐輪場

「オーナーサポート」「利用者満足度」「環境負荷低減」  
安全と信頼のテクノロジーで人・都市・環境を考慮し、  
これからのパーキングシステムを考える日本信号。



日本信号エコ・パーキングシステム

- QRコード駐車券
- 省電力表示機器：ハーフLCD
- LED蛍光灯採用表示板
- 太陽光発電駐車場・駐輪場



ゲート式駐車場管理システム



ゲート式駐車場管理システム



パークロック駐車場管理システム



サイクルロック駐輪場管理システム



バイクロック駐車場管理システム



ゲート式自転車・バイク駐輪場管理システム

 日本信号株式会社

<http://www.signal.co.jp/>

■AFC事業部 AFC営業部

〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1(新丸の内ビルディング 13階)  
PHONE:(03)3217-7373 FAX:(03)3217-7377

■大阪支社 交通システム営業部

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4(大阪富国生命ビル 8階)  
PHONE:(06)6312-3856 FAX:(06)6312-8597

■本 社 〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 (新丸の内ビルディング13階)  
PHONE:(03)3217-7200 (代) FAX:(03)3217-7300

■大 阪 支 社 〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 (大阪富国生命ビル)  
PHONE:(06)6312-3851 (代) FAX:(06)6312-8597

■北 海 道 支 店 〒060-0032 札幌市中央区北二条西3-1 (太陽生命ビル)  
PHONE:(011)271-4161 (代) FAX:(011)221-1705

■東 北 支 店 〒980-0021 仙台市青葉区中央2-8-13大和証券仙台ビル11F  
PHONE:(022)261-8371 (代) FAX:(022)225-4827

■中 部 支 店 〒430-6040 名古屋市中村区名駅1-1-4 (JRセントラルタワーズ)  
PHONE:(052)2167-2851 (代) FAX:(052)2167-2879

■九 州 支 店 〒810-0041 福岡市中央区大倉2-4-30 (山崎ビル)  
PHONE:(092)777-9175 (代) FAX:(092)714-8127

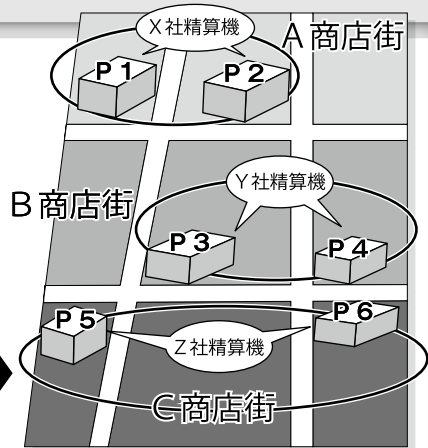
# 「全日駐規格・汎用（共通）サービス券」システム

～コンパクトシティ施策の推進・地域活性化に向けて～

## 現状の問題点

- 精算機メーカー毎に各社個別の磁気式サービス券を使う必要がある。
- メーカー共通の磁気式サービス券がないため、クーポン券式サービス券を有人対応で使用すると、24H営業・無人化が難しい。

A、B、Cの各商店街はそれぞれ別々のサービス券が必要です



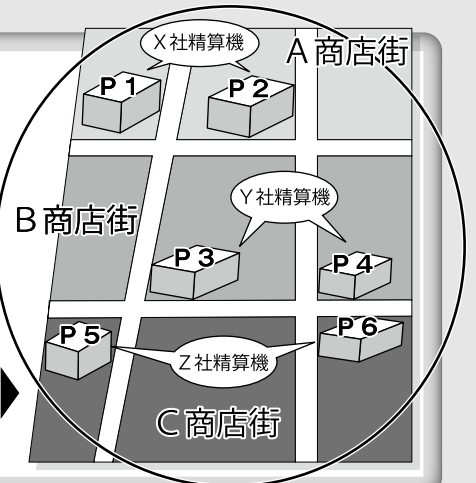
## 解決

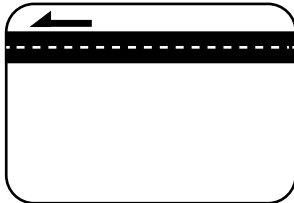
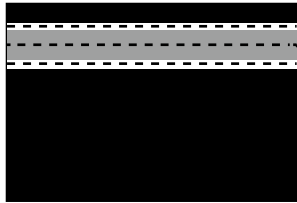
カードリーダーやソフトウェア改修等

## 共通サービス券システム

- メーカーが異なる複数の精算機で、汎用（共通）で使える磁気式サービス券です。
- 料金サービスを共通化できます。
- 自動精算機がある場合、24H営業・無人化も可能になります。

A、B、Cの各商店街で発行したサービス券が全ての駐車場で使用できます



現行仕様（制式スペック1）	追加仕様（制式スペック2）
JIS II型相当品	JIS II型相当品
カード上面に磁気記録層ストライプ	カード下面に磁気記録層全面コーティング
	 <p>磁気記録エリア ：カード下面</p>

### ■お問い合わせ先

一般社団法人全日本駐車協会  
TEL 03(3528)8305

### ■対応精算機メーカー

アマノ株式会社  
日本信号株式会社  
三菱プレジジョン株式会社  
株式会社サニカ

TEL 045(439)1516

TEL 03(3217)7373

TEL 03(6712)1732

TEL 055(284)2413

# 目 次

## PARKING No.254 / 2026・4

目 次 ..... 5

□令和8年新春駐車場研修会開催報告 ..... 6

□令和8年春季駐車場研修会参加レポート  
..... 8

三菱地所パークス株式会社  
執行役員コンサルティング営業部長  
増田 高明

□キャッシュレス決済に関する調査報告書  
..... 12

一般社団法人全日本駐車協会

□浸水対策に係るアンケート結果 ..... 28

一般社団法人全日本駐車協会事務局

□駐車場コラム ..... 37

「駐車場出入口の安全対策」

福岡大学工学部 社会デザイン工学科 助教  
田部井 優也

□情報発信「アンテナ」(第27回)  
「当社の機械式駐車設備の将来予想」

～台湾市場からみえるものの一考察～ ..... 40

新明和工業株式会社 パーキングシステム事業部  
グローバル推進室長 小森 保彦

□PARKING NOW ..... 49

■警察庁生活安全局

「自動車盗難等の発生状況について」

一般社団法人全日本駐車協会事務局

・「PARKING NOW」掲載情報提供のお願い

〔表 紙〕

首都圏外郭放水路(防災地下神殿)

表紙についてはP.8をご覧ください。

□PARKING IN TOKYO ..... 63

■令和8年度第1回定例理事会報告

■令和8年度第2回定例理事会のご案内

■令和8年度第3回定例理事会のご案内

■令和8年第59回定期総会のご案内

■諸会議等報告

■人事

■委員会委員名簿

□事務局だより ..... 66

■令和7年度第3回理事会報告

■令和8年度第1回理事会報告

■令和8年度第2回理事会のご案内

■令和8年第65回通常総会のご案内

■委員会委員名簿

■新会員のご紹介

株式会社DefragWorks

■委員会報告

■諸会議等報告

■会員動静

■人事

・表紙題材募集のご案内

・全日本駐車協会 会員メールアドレス提供のお願い

P R

日本信号株式会社 ..... P3・P48

日本駐車場救急サービス株式会社 ..... P1・P47

株式会社富士ダイナミクス ..... P2・P44

三菱地所株式会社 ..... 裏表紙裏

三菱プレシジョン株式会社 ..... 表紙裏・P45

公益社団法人立体駐車場工業会 ..... P46

協会事業のご案内

「全日駐規格・汎用(共通)サービス券」システム ..... P4

駐車場案内標識のご案内 ..... P74

# 令和8年新春駐車場研修会開催報告

令和8年新春駐車場研修会を駐車場関連5団体の共催で開催しました。

1. 日 時：令和8年2月6日(金) 13時30分～15時30分

2. 場 所：オンライン研修

3. 主催者：一般社団法人全日本駐車協会

一般社団法人東京駐車協会

公益社団法人立体駐車場工業会

一般社団法人日本自走式駐車場工業会

一般社団法人日本パーキングビジネス協会

4. 参加者：150名(全日駐92名)

5. 講演内容

今回の研修会では、国土交通省様の駐車場政策に関するご講演に続き、昨今の異常気象等と関連して火山噴火時の交通への影響予測についてのご講演、最後に駐車場のこれからを考えるテーマとして、ETC駐車場をテーマとした講演をしていただきました。

(1)「駐車場政策の最近の動向」

①講師 国土交通省 都市局 街路交通施設課 主査 大塚 駿 様

②要旨

i)まちづくりにおける駐車場政策のあり方検討会 とりまとめ概要

とりまとめのポイント：基本的な考え方(1)駐車場の需給等の実態

(2)都市政策の動向

(3)駐車場をとりまく動向(交通・物流・観光等)

とりまとめのポイント：具体的な施策の進め方(1)計画的な取組

(2)施設の構造設備に係る施策

(3)駐車場の整備(供給)施策

(4)各種政策課題への対応

ii)標準駐車場条例 改正概要

標準駐車場条例の改正の概要(R7.3)、共同住宅への荷さばき駐車施設に係る改正の概要、標準駐車場条例の概要、配送事業者への実態調査を踏まえた標準駐車場条例の基準、標準駐車場条例の運用に係る各種論点への対応(技術的助言)

iii)地下駐車場の浸水対策

くすの木パーキング浸水被害概要①・②、四日市市地下駐車場施設復旧検討委員会最終とりまとめ概要

- iv)自動二輪車等の駐車スペース確保  
市街地における自動二輪車等の駐車スペース確保に係る関係省庁連絡会議について、関係省庁による自動二輪車等駐車スペース確保の取組、自動二輪車駐車場の整備状況、自動二輪車駐車場の地域別の状況、新基準原付(道路交通法施行規則等改正)への駐車場の対応について
  - v)地下施設の緊急一時避難施設指定促進  
地下施設の緊急一時避難施設指定促進
- (2)「火山噴火時の交通への影響予測について」
- ①講師 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 火山防災研究部門長  
上席研究員 藤田 英輔 様
  - ②要旨
    - i)噴火ハザード
    - ii)富士山概要  
富士山噴火の被害想定：溶岩流、溶岩流によるコンクリート建造物影響評価について、噴煙柱・降灰  
降灰シミュレーション：暴露度・脆弱性評価
    - iii)火山災害への対策：降灰の厚さ・重さから見た分野別被害状況、降灰堆積時における車両走行等の体験事業、走破性能試験方法(1. 平坦コース、2. 登坂コース(傾斜5%))、結果(走破性能試験)、制動性能試験の概要、制動試験(層厚1cmの粗粒・中粒・細粒火山灰堆積路面)、結果(制動性能試験)、旋回性能試験(平坦カーブ(層厚1cm、細粒火山灰堆積))
    - iv)まとめ：降灰した道路における自家用車の運転、火山噴火による交通への影響
- (3)「世界に見るETC駐車場 ～その事業性研究～」
- ①講師 ETCシステム株式会社 代表取締役 片山 賢治 様
  - ②要旨
    - i)ETCの現状  
普及率
    - ii)世界の事例  
シンガポール、中国
    - iii)ETC駐車場ができること  
ユーザー視点、事業者視点
    - iv)これまでの取組  
試行運用
    - v)ETC駐車場事業主体者として当社の努力

以上

# 令和8年春季駐車場研修会参加レポート

三菱地所パークス株式会社

執行役員コンサルティング営業部長

増田 高明

令和8年3月6日(金)全日本駐車協会、東京駐車協会主催の令和8年春季駐車場研修会に参加させていただきました。参加者は44名。若干の曇り空のなか、以下のスケジュールで研修会が実施されました。

## 【当日のスケジュール】

1. 「ロジクロス三郷」計画概要説明
2. バスで移動中の講義①「物流と都市の駐車問題」
3. バスからの三郷地区の大型物流施設視察
4. 首都圏外郭放水路地下神殿視察
5. バスで移動中の講義②「災害時の緊急支援物流」
6. 意見交換会

## 【「ロジクロス三郷」計画概要説明】

まずは、三菱地所株式会社本社での「ロジクロス三郷」計画概要説明。物流施設の倉庫の分類は、いわゆる倉庫の「在庫保管型」「通過流通型」、生鮮品の加工・包装などを行う「生産品加工型」と三種あり、建物のタイプは、規模や荷物の垂直搬送設備(エレベーター、orトラック自体)をどのような計画にするかで、ボックス(ビル)タイプ、スロープタイプ、ランプタイプに分類されているようです。トラックバースは、トラックの高さに応じて「高床式」、ウイング車・フォークリフトでの積降に適した「低床式」があるようです。

首都圏における物流主要エリアは、東京湾岸部にコアなエリアが存在し、外環道、国道16号、圏央道と環状道路沿いに配置されているとのこと。ロジクロスができる埼玉県三郷は、外環道と常磐道のICから近く、空港(羽田・成田)及び港(東京・横浜)へのアクセスも良く、三菱地所他、複数のデベロッパーの物流施設が2025年～2026年に竣工するとのことでした。

物流倉庫の建設は工事期間が約1年と短く、好調であったようですが、建設費が2011年時と比べ倍以上となっているにも関わらず、賃料に、そこまでの上昇は見られないため、ビジネス環境は厳しくなっているようでした。



三菱地所株物流施設事業部による講義

また、駐車場屋として場内の事故が気になり質問をしたところ、交通事故はあまり起こらず、その代わりに従業員の労災事故が発生するとのことでした。

### 【バスで移動中の講義①「物流と都市の駐車問題」】

今回は移動のバスで居眠りができず、バス内での講義が実施されました。東京海洋大学 苦瀬博仁名誉教授の「物流」に関する講義です。初めの講義は、「物流と都市の駐車問題」でした。人流と物流を比較すると、人の交通(人の通勤通学・観光等)は、自らが車両に乗降し、出発地と目的地とを移動し荷物の積み下ろしをするが、それに対し物の輸送(日用品、食材、衣類等)は、誰かが運び積み下ろしをしなければなりません。

また、まちの賑わい創出として集客可能な店舗や施設を開発する場合、その開発が大きくなればなるほど、品物や材料の搬入量も増加します。しかしながら、それらを運ぶこと、積み下ろしは、あまり想定されていません。さらには、利用者が目的地までマイカーで移動し、買ったものを自身で運んでいたこれまでと異なり、スマホで注文し、誰かに自宅まで運んでもらうことが当たり前になっています。

時代は、「No parking No business」から「No delivery No business」に変化しており、ひとの移動は減少し、ものの移動は激増しています。しかしながら、ものを運ぶ、特に積み下ろす作業への対策が整っていないとの説明でした。

ビジネスの成功は、駐車場からデリバリーに代わっているという説明に衝撃を受けましたが、この変化にどう対応していけるか？いまのところ答えはありませんが、なにかを変えないと未来はないと強く感じた講義でした。

### 【バスからの三郷地区の大型物流施設視察】

そんな講義が終わり、バスは、今まさに大型物流施設建築ラッシュの三郷へ到着。バスの中から各社の施設を眺めました。物流施設は、もう少し人里離れた何もないところに建設されるものだと思っていましたが、学校や団地のすぐ近くであったことに少し驚きました。「それだけ、物流施設が生活に近い施設になってきているのかも？」とも思いました。

先ほどの駐車場の未来も、「生活に近いサービスを提供することが、ひとつの答えかも？」と感じました。



建設中の物流施設

### 【首都圏外郭放水路地下神殿視察】

バスは、次の目的地、首都圏外郭放水路地下神殿に到着。

埼玉の中川・綾瀬川地区は、元々、利根川・荒川等の大河川に囲まれた低い地形で、しかも、

河川の勾配が緩やかで水が流れにくく、さらに、戦後の市街化により、保水・湧水機能を持っていた田んぼや畑が市街地となり、浸水・洪水被害が多発してしまう地域ようです。

この放水路は、そのような背景に加え、昨今の気候変動による水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、「流域治水」の考えのもと、2300億円を投じ、2006年に整備された「水を地下に取り込む立杭」「地下で水を送り込むトンネル」「水勢を弱めスムーズな排水を促す調整水槽」「水を江戸川に吐き出すポンプ施設」で構成される巨大施設です。現在でも年平均7回程度、水を取り込むことがあるようです。

我々は、階段116段(ビル5～6階に相当)を降り、調整水槽底部に向かいました。巨大な柱59本が林立する様が、パルテノン神殿を連想させ、「日本が世界にほこる防災地下神殿」と周知されているようです。その柱には、「定常運転水位」「ポンプ停止水位」とのサイン、水が溜まっていたことを示す跡・よごれがあり、この施設が、地域の生活を維持するために働いているのだと見て取れました。

視察中、なぜか六本木ヒルズを思い出しました。2つの施設は、形・用途等にまったく共通点はありませんが、開発時期・総工費が近いこと、大変な苦労があったであろうが完成させた日本の建築・土木技術、今後も安全に使用し続けるためには維持管理が重要であること(そして、その費用を捻出すること)が、どちらにも共通しているからかもしれません。



調整水納の柱サイン・水が溜まっていたことを示す跡



調整水槽底部で柱をバックに記念写真

### 【バスで移動中の講義②「災害時の緊急支援物流」】

最後は、バスで移動中の講義第2弾「災害時の緊急支援物流」です。

地震だけでなく、大雨・大雪・台風・火災と災害は、多く発生しています。その際、多数の救援物資が届いているのであろうと漠然と思っていました。しかし、実際に災害が発生すると「道路が通行できない」、「運ぶトラック・ドライバー・燃料も不足」、「荷物が届いても保管する場所がない」、「届いた物資を仕分ける作業を誰がするか(カップ麺と箸が別々に届き、食べられないこともあるようです…)」等々、混乱があり、災害時の補給(輸送)は、きわめて課題が多いようです。

やはり、平常時に、災害時を想定した備蓄(在庫)を持つことが重要なようです。忘れかけて

いた災害時の生活の備えを考える非常にいい機会になりました。

### 【意見交換会】

東京へ戻り、意見交換会。博多からいらっしゃっていた方、日頃よりお世話になっている会社の方々と一緒の席になり、ハーフ&ハーフビールで、仕事の話はそこそこに、開催中のミラノオリンピックや、今年に行われるWBC、サッカーW杯等々、スポーツイベントの話などで盛り上がりました。ありがとうございました。

最後になりますが、今回の研修会も有意義なものとなりました。事務局をはじめ準備・ご協力いただいた方に改めて感謝申し上げます。また、全日本駐車協会、東京駐車協会及び会員の皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

調査資料

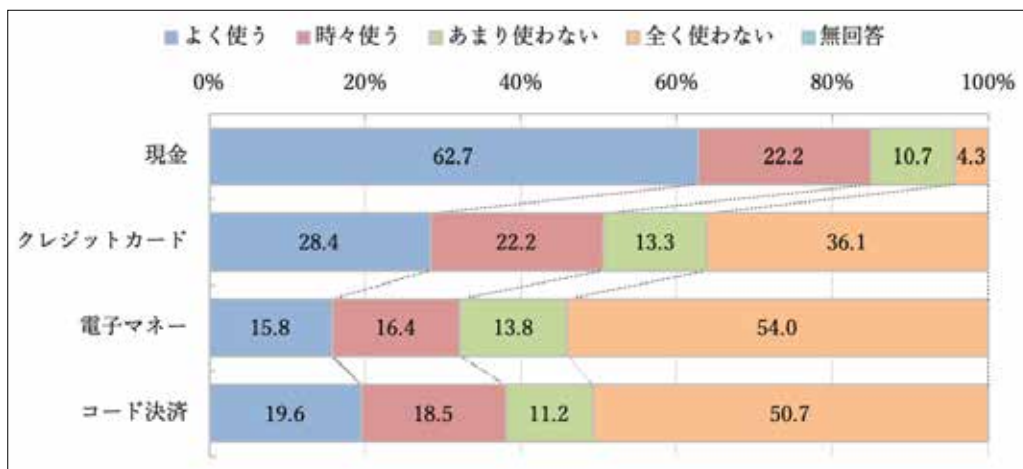
# キャッシュレス決済に関する調査報告書

一般社団法人全日本駐車協会

前号に続き、調査研究委員会で調査を実施した、「キャッシュレス決済に関する調査報告」について、調査結果をご紹介致します。

Q5：時間貸し駐車場を利用した時の決済方法(ビジネス利用時)

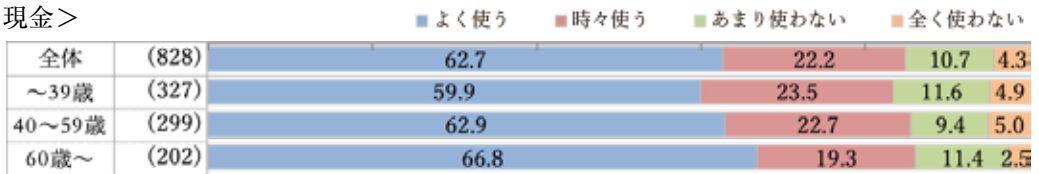
- ・「よく使う」「時々使う」を合わせると84.9%と、ビジネス利用の場合でも現金が圧倒的に使われていることが分かります。但し、クレジットカードが50.6%と半数を超えているほか、コード決済は38.1%、電子マネーは32.2%と、いずれもプライベート利用の場合よりも利用率が高くなっています。また、クレジットカードとコード決済では「よく使う」の方が「時々使う」よりも回答数が多くっており、プライベート利用の時に比べて積極的にキャッシュレス決済を利用している印象が強いです。一方で、電子マネーとコード決済は「全く使わない」という答えが50%を超えていてプライベート利用時よりも高く、使う人と使わない人に分かれている印象があります。
- ・ビジネスで時間貸し駐車場を使う方(974人)のうち、クレジットカード、電子マネー、コード決済のいずれも「全く使わない」と答えた方は229名(23.5%)いらっしゃいました。プライベートの場合は24.4%なので、ほぼ同率と言えます。



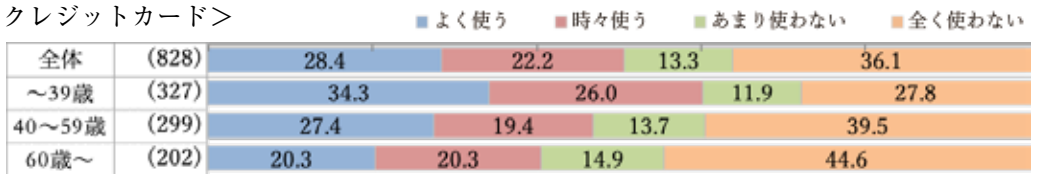
### <年代ごとの利用状況>

- ・年代ごとの利用状況を決済方法別にグラフ化すると次のようになります。
- ・現金についてはプライベート利用時同様、60歳以上が他の年代に比べて高くなっていますが、どの年代でも「よく使う」「時々使う」の合計はプライベート利用時よりも4~6ポイント低くなっており、現金の利用が若干少なくなっています。キャッシュレス精算については、いずれの決済方法も年代が低いほど利用する傾向が高くなっており、プライベート利用時と同様の傾向となっています。今後の世代交代を考えると、ビジネス利用についてもキャッシュレス化がより進むのは間違いないといえます。

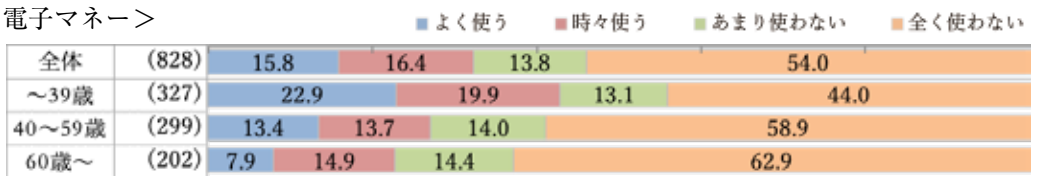
#### <現金>



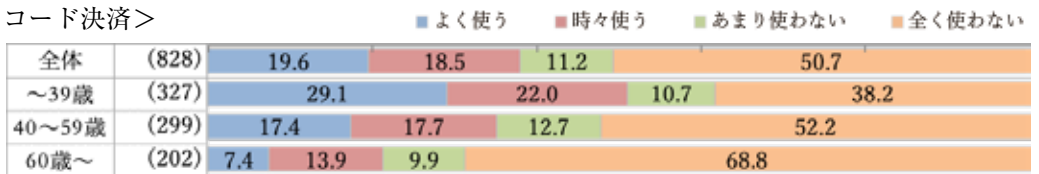
#### <クレジットカード>



#### <電子マネー>



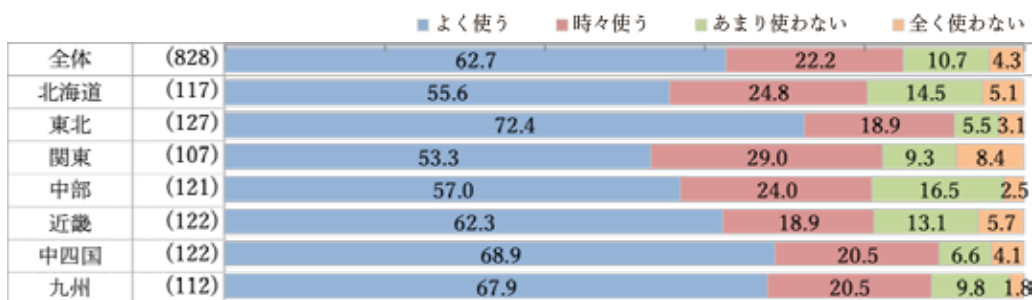
#### <コード決済>



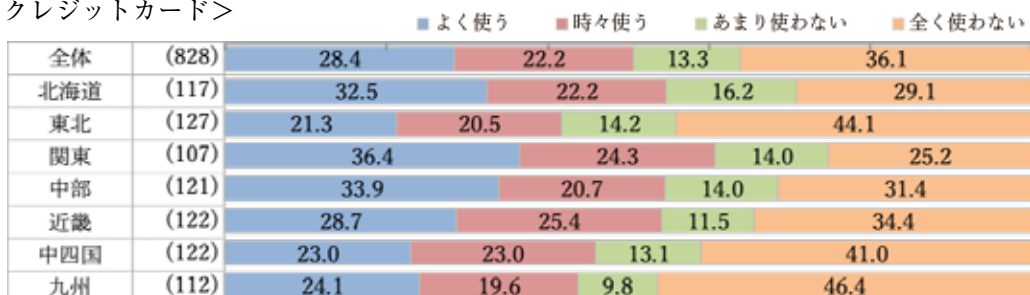
### <地域ごとの利用状況>

- ・地域ごとの利用状況を決済方法別にグラフ化すると次のようになります。
- ・現金についてはプライベート利用時ほどではないですが、東北、中四国、九州が他の地域に比べて高い傾向にあります。クレジットカードについては、その裏返しとなっています。電子マネーの傾向もプライベート利用時と同様ですが、東北の利用率の低さが特徴的です。コード決済もプライベート利用時と同様ですが、「よく使う」と「時々使う」の合計で九州が関東に次ぐ2番手(プライベート利用時は4番手)となっています。

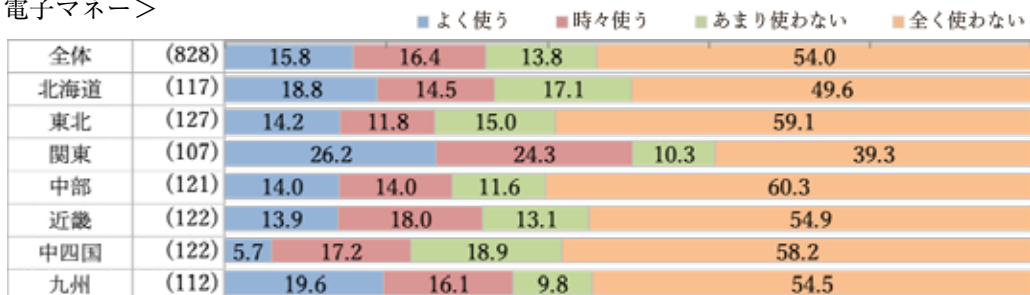
<現金>



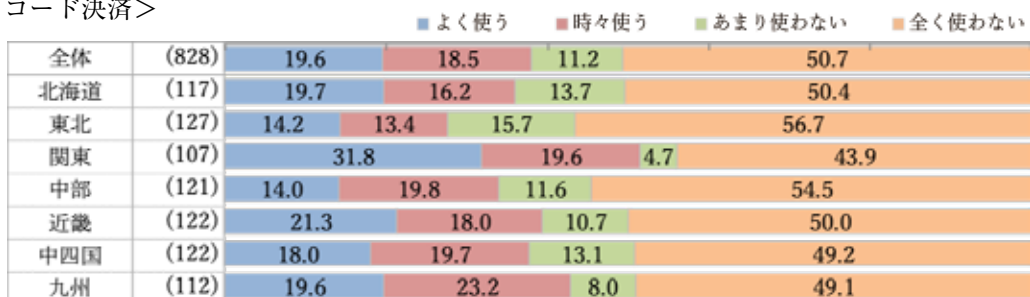
<クレジットカード>



<電子マネー>



<コード決済>



Q6：各決済方法について思い浮かぶ銘柄(ビジネス利用時) ※複数回答

- ・Q2(プライベート利用時に思い浮かぶ銘柄)同様、単純に回答数で順位を付け、5位までを以下に示します。なお、クレジットカードについては、国際ブランド(VISAやMastercardなど)とカード自体の名称(三井住友カードや楽天カードなど)それぞれについて表を作成しました。

<クレジットカード>

○国際ブランド

- ・順位はプライベート利用時と同じで、VISAが192件で1位となり、2位のJCBが91件、3位のMastercardが49件と続きます。

ブランド名	回答数
VISA	192
JCB	91
Mastercard	49
アメリカン・エクスプレス	29
ダイナース	0

○カードの名称

- ・プライベート利用時と同様、楽天カードが75件で1位となりましたが、2位は三井住友カードの23件、3位はPayPayカードの18件と、2位と3位が入れ替わりました。また、4位と5位も入れ替わっています。
- ・なお、6位以下にはセゾンカード、オリコカード、au Payカードなどがありました。

ブランド名	回答数
楽天カード	75
三井住友カード	23
PayPayカード	18
dカード	10
イオンカード	9

<電子マネー>

- ・プライベート利用時と同様、交通系のSuicaが116件で1位、商業系のWAONが88件で2位となり、3位の楽天Edy23件以下を大きく引き離しています。また、nanacoが圏外となり、ICOCAが4位に上がって、5位にはPASMOが入りました。
- ・なお、6位以下には、nanaco、iD、nimocaなどがありました。

ブランド名	回答数
Suica	116
WAON	88
楽天Edy	23
ICOCA	22
PASMO	17

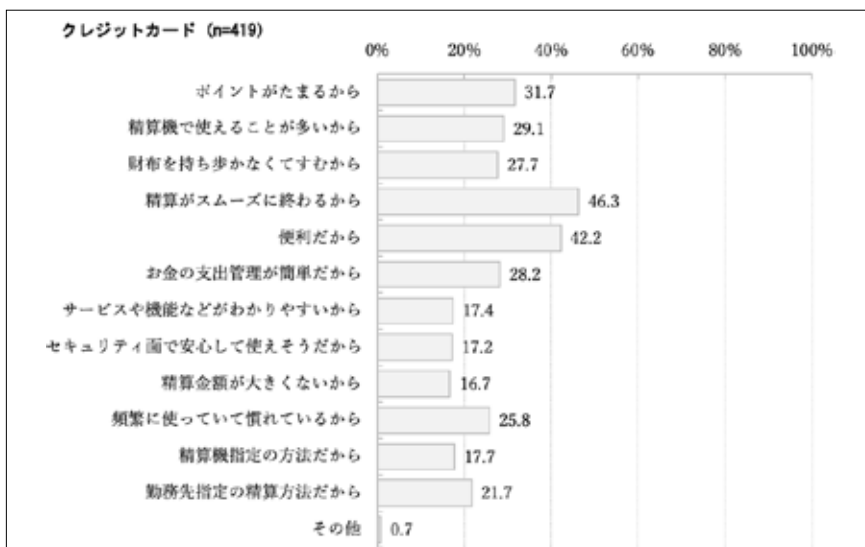
<コード決済>

- ・順位はプライベート利用時と同じで、1位は221件のPayPayが他を圧倒していて、2位には楽天ペイの80件、3位にはd払いの33件が続きます。
- ・なお、6位以下には、LINE Pay、ファミペイなどがありました。

ブランド名	回答数
PayPay	221
楽天ペイ	80
d払い	33
au Pay	27
メルペイ	12

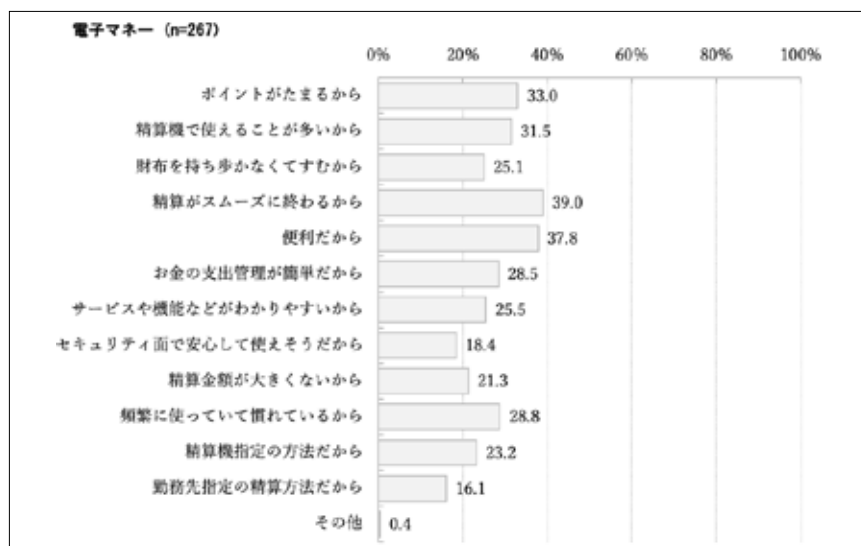
Q7:「よく使う」「時々使う」と答えた決済方法を使う理由(ビジネス利用時) ※複数回答  
 <クレジットカード>

・「精算がスムーズに終わるから」が46.3%で1位、「便利だから」が42.2%で2位となり、少し離れて「ポイントが溜まるから」が31.7%で3位となりました。なお、4～7位までも29.1～25.8%と1/4以上の回答者が使う理由として挙げているほか、これら以外の選択肢も15%以上であり、全体的に使う理由が分散している印象です。



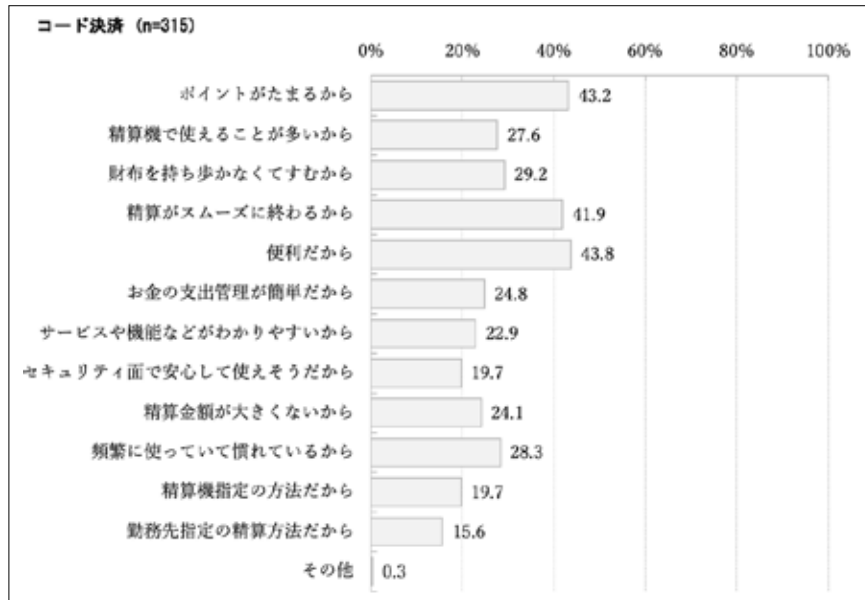
<電子マネー>

・「精算がスムーズに終わるから」が39.0%、「便利だから」が37.8%、「ポイントが溜まるから」が33.0%と上位3者の顔触れは同じですが、いずれも40%未満であり、クレジットカード以上に使う理由が分散している印象です。



### <コード決済>

- ・「便利だから」が43.8%で1位、「ポイントが溜まるから」が43.2%で2位、「精算がスムーズに終わるから」が41.9%で3位となり、この3つが頭一つ抜けていますが、これら以外の回答も概ね20%を超えており、全体的に使う理由が分散している印象です。



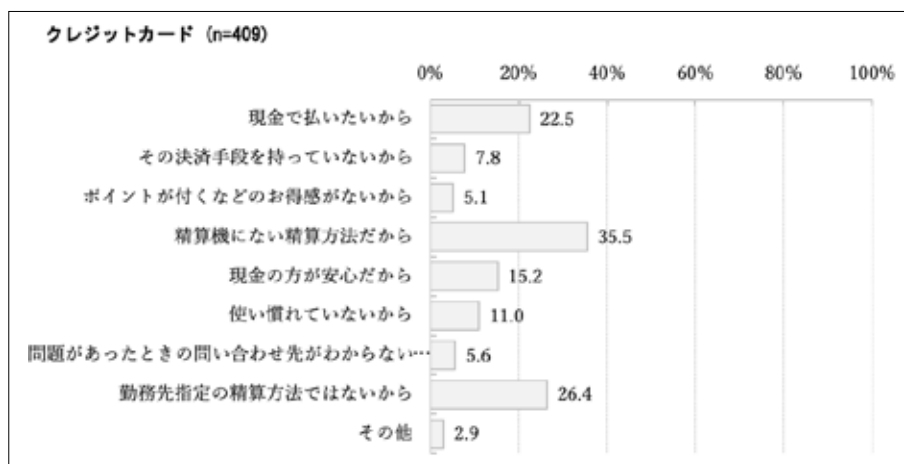
### <3つの決済方法を比較して>

- ・プライベート利用の場合は、クレジットカードについて「精算機で使えることが多いから」が他の決済方法に比べて高かったですが、ビジネス利用の場合はそこまでの差が表れていません。はっきりしたことは言えませんが、ビジネス目的で利用する駐車場の精算機には、電子マネーやコード決済等の決済方法が採用されている可能性が高いと推測されます。
- ・ビジネス利用の場合でも、キャッシュレス決済を利用する理由の上位は「ポイント」「スムーズな精算」「便利さ」であり、プライベート利用と大きく変わりませんでした。

Q8：「あまり使わない」「全く使わない」と答えた決済方法を使わない理由(ビジネス利用時)  
 ※複数回答

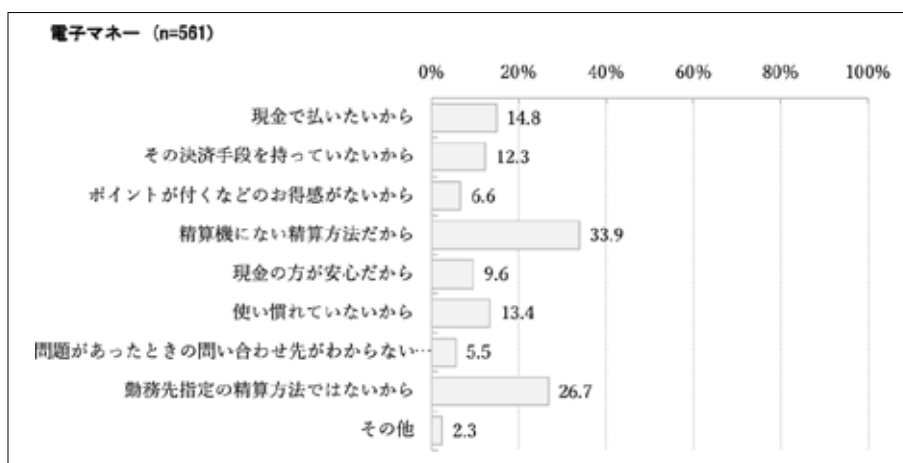
<クレジットカード>

・プライベート利用時と同様、「精算機にない精算方法だから」が35.5%で1位ですが、「勤務先指定の方法ではないから」が26.4%で2位となり、「現金で払いたいから」の22.5%と続きます。「現金の方が安心だから」も15.2%で4位であり、ビジネス利用の場合でも現金主義の傾向は窺えますが、勤務先が指定していないという理由が2位に来るのが特徴的です。



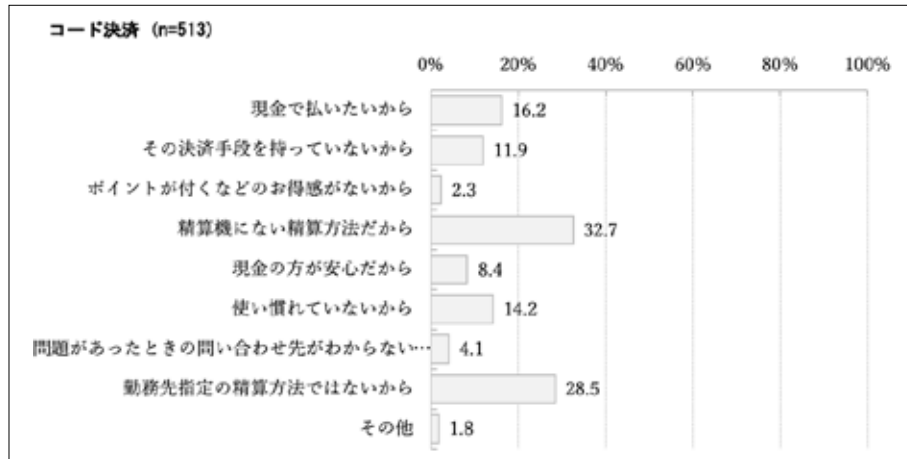
<電子マネー>

・クレジットカード決済同様、「精算機にない精算方法だから」の33.9%に続いて、2位が「勤務先指定の方法ではないから」の26.7%、3位が「現金で払いたいから」の14.8%となります。なお、4位は「使い慣れていないから」13.4%、5位は「その決済手段をもっていないから」12.3%となり、クレジットカード決済と多少異なる傾向がうかがえます。



### <コード決済>

- ・電子マネー同様、1位が「精算機にない精算方法だから」32.7%、2位が「勤務先指定の方法ではないから」の28.5%、3位が「現金で払いたいから」の16.2%となり、以下4位も「使い慣れていないから」14.2%、5位も「その決済手段を持っていないから」11.9%と続いており、使わない理由の順位は変わりません。

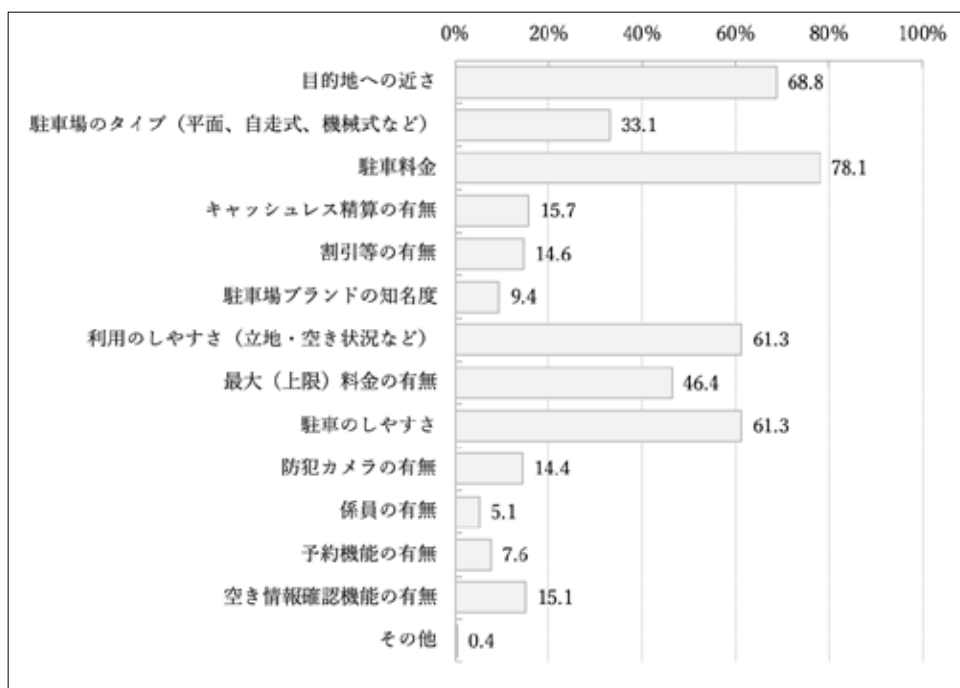


### <3つの決済方法を比較して>

- ・使わない理由については決済方法間で大きな違いは見られませんが、プライベート利用時と比べた場合、「精算機にない精算方法だから」という回答が相対的に低くなっています。また、「勤務先指定の方法ではないから」がいずれも25%を超えて2位となっているのは、ビジネス利用時ならでの理由と言えます。

Q9：時間貸し駐車場を選ぶ際に重視する点 ※複数回答

- ・1位が「駐車料金」で78.1%、2位が「目的地への近さ」で68.8%、3位は「利用のしやすさ(立地・空き状況など)」と「駐車場のしやすさ」が同率の61.3%でした。
- ・5位には「最大(上限)料金の有無」46.4%が入っており、料金(単価)だけでなく上限があることの安心感を重視していることが分かります。
- ・「キャッシュレス精算の有無」を重視する人が15.7%と低かったことは、現金を「よく使う」「時々使う」と回答した人がプライベートで90.0%、ビジネスでも85.0%いたことを踏まえると、現時点では当然の結果と思われますが、経済産業省が公表した2024年のキャッシュレス決済比率は42.8%と4割以上となり、前年比も+3.5ポイントの伸びとなっていることから、このキャッシュレス化の流れが時間貸し駐車場の決済方法にも来るのかどうか、見極める必要があると思われます。
- ・なお、数値は高くはないですが、9.4%の方が「駐車場ブランドの知名度」を選んでいました。



## Q10：時間貸し駐車場の精算についての要望や不満点

- ・設問に「精算についての」と書いたのですが、精算以外のことに関する要望や不満点も多く寄せられたことから、それぞれについて以下に記します。

## &lt;精算について&gt;

- ・総回答数が1,848件なので10.0%弱ですが、「キャッシュレス精算を入れて(増やして)ほしい」という回答が179件で1位となりました。2位は97件で「料金をわかりやすく」、3位は66件で「新紙幣や新硬貨、高額紙幣を使えるように」となります。

要望や不満点	回答数
キャッシュレス精算を入れて(増やして)ほしい	179
料金をわかりやすく(表示)してほしい(最大料金や割引も含む)	97
新紙幣や新硬貨、高額紙幣を使えるようにしてほしい(500円玉も)	66
精算がしにくい(車を寄せにくい、投入口の位置・形状、等)	19
最大料金を設定し欲しい	14
決済方法をわかりやすく表示してほしい	14

## &lt;精算以外について&gt;

- ・「車室や車路が狭い、停めにくい」という回答が86件で1位となり、以下、「駐車料金が高い」が70件で2位、「空いていない、空き情報を知りたい」が32件で3位となりました。
- ・なお、4位以下は回答数が1桁だったために表には載せませんでしたが、4位は「事前予約が出来ると良い」が7件でした。

要望や不満点	回答数
車室や車路が狭い、停めにくい	86
駐車料金が高い	70
空いていない、空き情報を知りたい	32

## 4. 導入済事業者の声

- ・前述の通り、令和5年度の会員駐車場調査において「キャッシュレス決済を導入している」と回答した会員93社に対してアンケート(web/紙ベース)をお願いし、計51件の回答を頂きました。(回答率58.1%)
- ・質問事項は、①導入している精算方法、②現金での精算も可能かどうか、③キャッシュレス精算にしたメリット、④キャッシュレス精算にしたデメリット、⑤キャッシュレス精算にしたことで生じたトラブル、の5点です。
- ・アンケート結果をごく簡単にまとめると「現金の取り扱いの減少や顧客の利便性向上などをメリットとして評価する一方で、半数以上がキャッシュレス決済による手数料等の負担をデメリットとして評価」しています。なお、クレカや電子マネーに比べてQRコード(コ

ード決済)の導入割合が低かったですが、利用者の利用動向を踏まえると、もっとコード決済の導入が進んでいく余地があるのではないかと思います。

- ・回答結果は以下の通りです。(質問事項の③～⑤については、質問の趣旨から外れる回答は除外しています)

①導入している精算方法

- ・決済方法別で見た場合、クレジットカードと電子マネーは80%以上が導入していると回答している一方、QRコードについては41.2%と導入割合はクレジットカードなどの半分となります
- ・なお、スマホだけで完結する決済方法の導入はクレジットカードが8件、QRコードが7件となっており、スマホ完結型はまだまだ少ないことが確認されましたが、クレジットカードについては精算機44件に対してスマホ完結型が8件なのに対し、QRコードでは21件に対して7件とスマホ完結型の割合が高くなっています。

	導入数			
	精算機		スマホ決済	
クレジットカード	44	86.3%	8	15.7%
電子マネー(Suica、PASMO、Edy等)	41	80.4%		
QRコード(pay pay、Linepay等)	21	41.2%	7	13.7%

②現金での精算も可能かどうか

- ・回答総数51件中50件が現金での精算も可能と答えており、ほぼすべての精算機が現金での精算を併用しています。

可能	50	98.0%
不可能	1	2.0%

③キャッシュレス精算にしたメリット

- ・1位は「現金の取り扱いが減った(釣銭管理が楽になった、釣銭の補充回数が減った、釣銭トラブルが減った、現金回収の回数が減った、等)」で、45.1%と半数近い方がメリットとして挙げています。2位は「顧客利便性が向上した(精算方法の多様化)」で27.5%、3位は「未回収リスクの低減、現金を持っていない/財布を忘れた顧客への対応が可能となった」で11.8%。一方で、23.5%の方が「特にない」と回答していますが、キャッシュレス決済の利用率が高くないためにメリットが感じられていない可能性もあります。

内 容	回答数	割合
現金の取り扱いが減った(釣銭管理、釣銭補充、釣銭トラブル、現金回収、等)	23	45.1%
顧客利便性が向上した(精算方法の多様化)	14	27.5%
未回収リスクの低減、現金を持たない/財布を忘れた顧客への対応が可能	6	11.8%
売上が上がった、客単価が上がった	5	9.8%
高額紙幣への対応が不要、高額紙幣の両替が不要	4	7.8%
精算機での混雑減少、精算時間の短縮	4	7.8%
機器トラブル(紙幣詰まり、硬貨詰まり)の減少	3	5.9%
領収書発行の手間減少	1	2.0%
売上管理が楽になった(クレジットカードのため)	1	2.0%
現金を持つての移動リスクが減った	1	2.0%
特にない	12	23.5%

#### ④キャッシュレス精算にしたデメリット

- ・1位は「手数料の負担が大きい」で、56.9%と半数以上の方がデメリットとして挙げているだけでなく、2位の「導入手間、導入費用、故障時の費用、EMV化の費用などが掛かる」15.7%、3位の「操作に不慣れな利用者への案内が必要、システムエラー時の利用者対応が必要」7.8%を大きく離しています。一方で、31.4%の方が「特にない」と回答しています。

内 容	回答数	割合
手数料の負担が大きい	29	56.9%
導入手間、導入費用、故障時の費用、EMV化の費用	8	15.7%
操作に不慣れな利用者への案内が必要、システムエラー時の利用者対応	4	7.8%
通信料の負担が大きい	3	5.9%
費用対効果が低い(エラー時の決済会社とのやり取り)、伸び率が低い	3	5.9%
決済(通信)に時間が掛かるときがある	2	3.9%
返金が面倒	1	2.0%
支払方法が分からず、或いは故意で料金を未払いとする者がいる	1	2.0%
レジとは別のタブレットで対応するため手間が若干かかる	1	2.0%
頻度は少ないが、導入当初は利用できないことがあった	1	2.0%
全ての決済手段を網羅することが難しい	1	2.0%
売上が下がったような気がする	1	2.0%
精算が面倒(手数料率がばらばら、手数料の消費税有無が異なる)	1	2.0%
通信障害時には決済が出来なくなる	1	2.0%
特にない	16	31.4%

⑤キャッシュレス精算にしたことで生じたトラブル

- ・「特にない」という回答が26件(51.0%)と過半数であった一方、「決済されないことがある(QRデータアンマッチ、アプリがフリーズする、カードリーダーでの読み取りトラブル、等)」8件(15.7%)、「通信エラーが発生することがある(設置環境による場合を含む)」5件(9.8%)、「何らかの理由で決済できないときの現金を持っていない人への対応(出庫に時間が掛かる、未回収となる、など)」4件(7.8%)などの回答がありました。

内 容	回答数	割合
決済されないことがある(QRデータアンマッチ、等)	8	15.7%
通信エラーが発生することがある(設置環境による場合を含む)	5	9.8%
何らかの理由で決済できないときの現金を持っていない人への対応(未回収のことも)	4	7.8%
クレカのタッチ決済が反応せず、問い合わせが来ることが多い(タッチが浅い場合を含む)	2	3.9%
原因が不明のままとなったことがある(利用不可、決済未了)	2	3.9%
精算方法が分からないため、出庫後に連絡をもらうことがある	1	2.0%
領取書の取得方法が分からないため送ってほしいとの要望がわずかにある	1	2.0%
決済エラー時に精算機と利用者のどちらを信用するかで対応が遅れることがある	1	2.0%
決済画面にアイコンが多数で小さく見えないと言われた	1	2.0%
決済エラー時に利用者が何度も操作をして二重決済になることがある	1	2.0%
実際は1回決済なのに決済エラーとして二重決済の通知がされ、問い合わせが来る	1	2.0%
クレジットカード決済にてデビットカード使用時に二重決済を疑われるような精算トラブルがあった	1	2.0%
高齢の利用者から「使い方が分からない」との問い合わせが複数あった	1	2.0%
決済完了までの通信時間が長いというお声を頂いたことがある	1	2.0%
特にない	26	51.0%

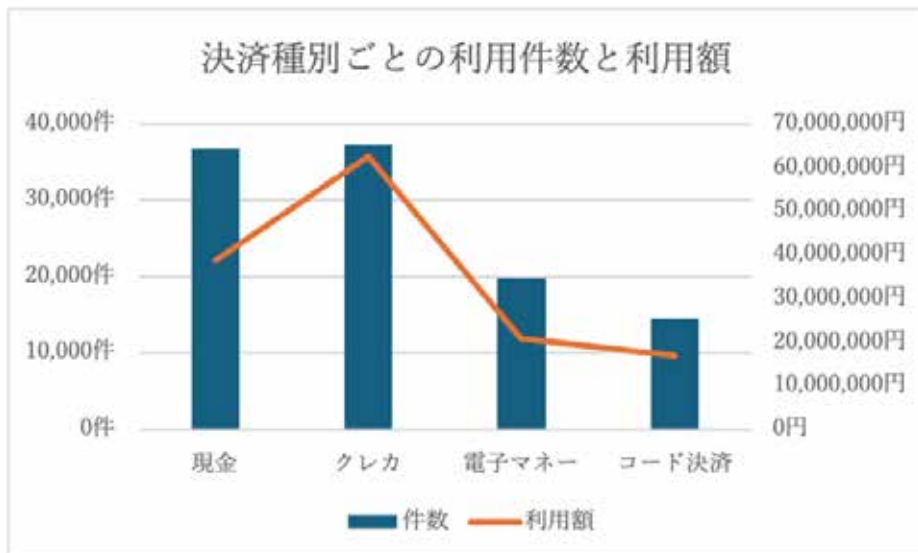
5. 参考資料

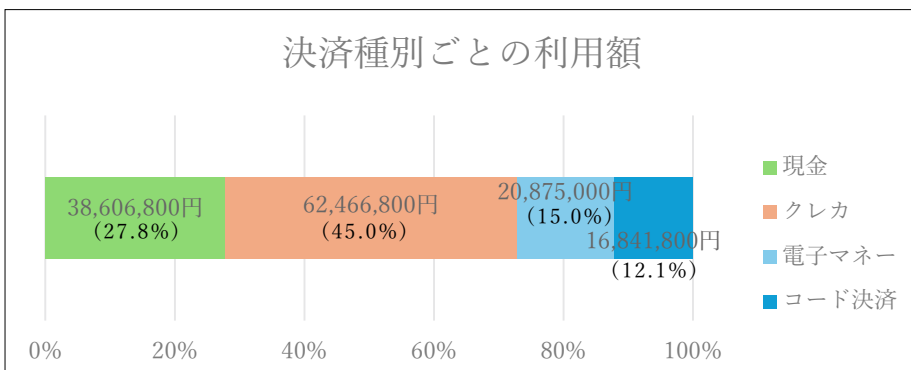
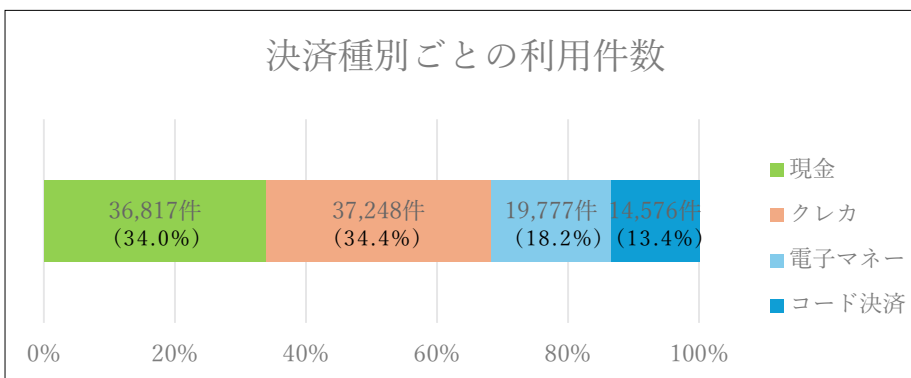
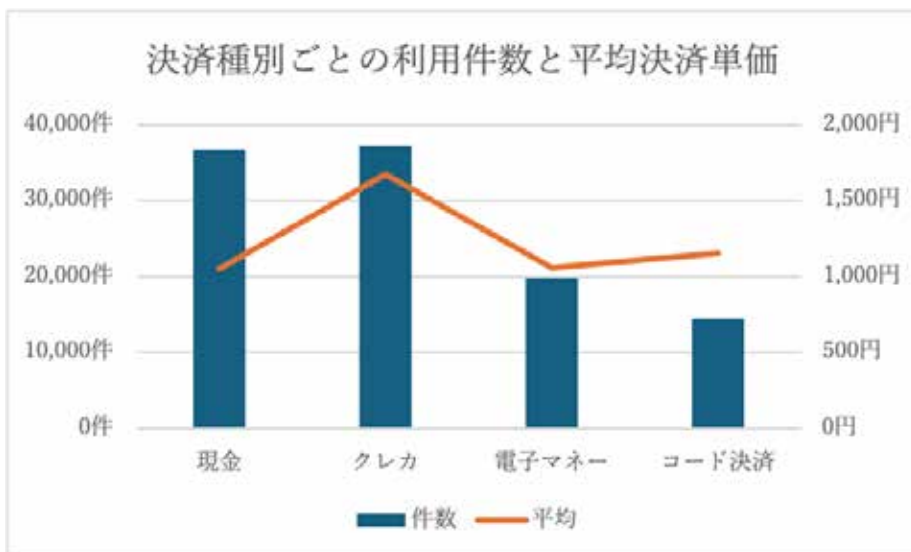
- ・前述の通り、会員企業様より、東京都内のとある商業集積地における時間貸し駐車場(3ヶ所)の精算データ(2025/3/1~8/31 ※1ヶ所のみ3/20~)の提供を頂き、当該駐車場における決済状況を取りまとめました。なお、当該駐車場は原則キャッシュレス精算となっており、出口でのみ現金の利用が可能となっていることから、通常の現金精算併用の駐車場に比べて現金の利用が少なくなっていると思われますので、その点ご注意ください。
- ・3ヶ所分の精算データを受領しましたが、場所的に近接していることから1つにまとめたいので、決済種別ごとの利用件数や利用額を表とグラフにしました。以下の通りとなります。

- ・現金の利用が可能なのは出口の精算機のみですが、それでも件数で34.0%、利用額でも27.8%と、現金の利用はかなり多くなっています。
- ・キャッシュレス精算の中で比較すると、クレカが件数で5割以上、利用額では6割以上を占めており、次いで電子マネー(件数で3割弱、利用額で2割)、コード決済(件数で2割、利用額で2割弱)となり、クレカの利用が多いことが分かります。
- ・なお、1件当たりの平均決済額を見ると、クレカが1,677円と現金を含む他の決済方法を大きく引き離しており(1.5倍以上)、駐車料金が低い時にクレカが使用されるという傾向が窺えます。

	件数	利用額	平均
現金	36,817件 (34.0%)	38,606,800円 (27.8%)	1,049円
クレカ	37,248件 (34.4%)	62,466,800円 (45.0%)	1,677円
電子マネー	19,777件 (18.2%)	20,875,000円 (15.0%)	1,056円
コード決済	14,576件 (13.4%)	16,841,800円 (12.1%)	1,155円
	108,418件 (100.0%)	138,790,400円 (100.0%)	1,280円

- ・上記の表をグラフ化したものを以下に掲載します。





## 6. 終わりに

- ・以上、2つの調査結果と参考資料を報告致しましたが、時間貸し駐車場においてもキャッシュレス化が進んでいること、若い世代ほどキャッシュレスの利用率が高いことから今後、更にキャッシュレス化が進むであろうことが確認できました。
- ・駐車場事業者としてはキャッシュレス化に伴う手数料等の負担がデメリットとはなりますが、一方で現金回収等のコストが低減できることもあり、キャッシュレス化の今後ますますの進展を考えたときに、キャッシュレス対応の導入はこれまで以上に駐車場事業を考える上で重要になっていくものと思われまます。
- ・今回の調査報告が、会員の皆様のお役に立ちましたら幸いです。

以上

# 浸水対策に係るアンケート結果

一般社団法人全日本駐車協会事務局

## 1. 初めに

- ・2025年9月12日の記録的豪雨により三重県四日市市にある地下駐車場の車両が水没した事案を受け、調査研究委員会において、地下駐車場(ビル併設を含む)を保有・運営されている全日本駐車協会の会員の方々にアンケートを実施することを決め、本年1月に該当する会員宛に依頼を致しました。
- ・その結果、38会員から67ヶ所(一部に複数の駐車場の対策等をまとめて回答された例があり、そこについては1ヶ所としてカウント)の回答を頂きました。ご多忙のところご協力を賜りましてありがとうございます。この場をお借りして御礼申し上げます。
- ・回答結果については事務局内で取りまとめのうえ、調査研究委員会において精査を行い、今般、調査報告書がまとまりましたので、機関誌上でご報告致します。

## 2. 調査内容と調査方法について

- ・調査内容(質問項目)については以下の通りで、これらを記したアンケート用紙をメールまたは郵送にてお送りし、ご回答頂きました。

質問1. 保有・運営されている地下駐車場の構造・形式等について教えてください。

質問2. 過去に浸水被害にあわれたことがある場合、浸水被害の状況や当時の対応について、差し支えない範囲で教えてください。

質問3. 浸水対策について

①浸水対策をされている場合、具体的な対策をお書きください。

また、浸水対策を実施する時の計画(どの段階で対応するか、誰が対応するか、どの入り口から対応するか、など)を策定していますか。

②浸水対策をされていない場合で、今後導入を考えている対策がありましたらお書きください。

また、既に浸水対策をされている場合でも、今後新たに追加で導入することを考えている対策がありましたらお書きください。

③浸水対策に関して不安に思っていることがありましたらお書きください。

質問4. 訓練や点検について

①浸水対策をされている場合、その対策に係る訓練や点検を行っていますか。

②訓練や点検を行っている場合は頻度や実施者(対象者)等も含めて、その内容をお書きください。

行っていない場合でも、今後の実施を考えている場合には、それをお書きください。

### 質問5. その他

- ・浸水対策や浸水被害について気になることや知りたいことなどがありましたらお書きください。

### 3. 留意点

- ・自由記述の質問については事務局にて適宜類型化しております。
- ・未記入の場合もあるため、合計が67ヶ所とならない場合もあります。
- ・同一駐車場に複数の対策等を導入している場合があるため、合計が67ヶ所を超える場合もあります。
- ・複数の駐車場を保有・運営される会員が同じ内容で回答する場合があるため、回答数が偏る(その会員の回答数が多くなる)可能性があります。

### 4. 調査結果

質問1. 保有・運営されている地下駐車場の構造・形式等について教えてください。

- ・自走式が58ヶ所、機械式が17ヶ所でした。なお、自走式と機械式を併設している駐車場があるため、合計は67ヶ所を超えています。
- ・階層については、1層が29ヶ所、2層が28ヶ所、3層が8ヶ所、4層が1ヶ所でした。(地上階を除いた階層数)
- ・地上との出入口の数については、回答方法を具体的に指定しなかったために、車の出入口数だけだったり、人の出入口数も書いてあったりしたことから、申し訳ありませんが割愛させて頂きました。

質問2. 過去に浸水被害にあわれたことがある場合、浸水被害の状況や当時の対応について、差し支えない範囲で教えてください。

- ・浸水したことがある駐車場が3ヶ所、浸水したことがない駐車場が63ヶ所、回答なしが1ヶ所でした。なお、浸水したことがある駐車場は、いずれも駐車車両への被害はありませんでしたが、管理シャッターが水圧で破壊されたという例が1ヶ所ありました。

質問3. 浸水対策について

- ①浸水対策をされている場合、具体的な対策をお書きください。

また、浸水対策を実施する時の計画(どの段階で対応するか、誰が対応するか、どの入り口から対応するか、など)を策定していますか。

- ・何らかの浸水対策をしている駐車場が62ヶ所、対策をしていない駐車場が5ヶ所で、殆どの駐車場が何らかの浸水対策をしています。なお、「対策をしていない」と答えた駐車場では、「(入口レベルが高い、側溝などの排水設備がよい、などの理由から)浸水リスクがない(低い)から」という回答がありました。
- ・具体的な対策としては次の通りです。なお、製品名での回答もありましたが、具体的な用途等に応じて分類しております。
- ・止水板(簡易なものを含む)や防潮板、防水扉などの回答が46ヶ所で最も多く、土のうなどが41ヶ所、排水ポンプが24ヶ所、雨水槽などが15ヶ所、発電機が12ヶ所となりました。やはり、浸水対策としては止水板や土のうが基本のようです。

※割合は「対策をしている」と答えた62ヶ所に対する数字

止水板、防潮板、防水扉、仕切り板	46ヶ所	74.2%
土のう、ウォーターゲル、水のう、吸水バッグ	41ヶ所	66.1%
排水ポンプ	24ヶ所	38.7%
雨水槽、排水槽、貯留槽、地下ピット	15ヶ所	24.2%
発電機	12ヶ所	19.4%
防潮シート、止水シート	5ヶ所	8.1%
防水シャッター	2ヶ所	3.2%
吸水マット	1ヶ所	1.6%

②浸水対策をされていない場合で、今後導入を考えている対策がありましたらお書きください。

また、既に浸水対策をされている場合でも、今後新たに追加で導入することを考えている対策がありましたらお書きください。

- ・導入する、或いは追加で導入するという駐車場が8ヶ所、導入を予定している・検討しているという駐車場が19ヶ所、導入しないという駐車場が21ヶ所、無回答が19ヶ所でした。

(追加で)導入する	8ヶ所	11.9%
(追加で)導入することを予定・検討している	19ヶ所	28.4%
(追加で)導入しない	21ヶ所	31.3%
無回答	19ヶ所	28.4%
合計	67ヶ所	100.0%

- ・ 浸水対策をしている駐車場(62ヶ所)で追加導入をする、或いは予定・検討しているところは27ヶ所、既に浸水対策をしている駐車場で追加導入をしない、或いは予定・検討していないところは16ヶ所となり、追加対策の必要性を感じている会員が半数近い(43.6%)という結果となりました。

<浸水対策をしている駐車場の回答>

(追加で)導入する、予定・検討している	27ヶ所	43.6%
(追加で)導入しない	16ヶ所	25.8%
無回答	19ヶ所	30.6%
合 計	62ヶ所	100.0%

- ・ 逆に、浸水対策をしていない駐車場(5ヶ所)については、全ての駐車場が追加導入しない、或いは予定・検討していないと回答しました。これは、浸水リスクがない(低い)ためと考えられます。

<浸水対策をしていない駐車場の回答>

(追加で)導入する、予定・検討している	0ヶ所	0.0%
(追加で)導入しない	5ヶ所	100.0%
無回答	0ヶ所	0.0%
合 計	5ヶ所	100.0%

- ・ 追加導入をする、或いは予定・検討している対策は次の通りです。（「する」と「予定・検討」が混在する場合には、「する」で統一しています）
- ・ 浸水を検知する方法の導入、土のうの用意、海拔表示や避難誘導の方法について施設所有者と調整するという回答が、それぞれ6ヶ所となり、止水板等の新設・追加・強化が5ヶ所、社内防災マニュアルへの浸水対応の追加が4ヶ所と続きます。
- ・ 1ヶ所ですが、浸水避難シミュレーションの結果を踏まえて、避難計画等を見直すという回答がありました。シミュレーションの費用の問題はありますが、重要な取り組みと思われます。

※割合は「(追加で)導入する」と答えた27ヶ所に対する数字

浸水を検知する方法(監視カメラ、水位センサー)を導入する	6ヶ所	22.2%
土のうを用意する	6ヶ所	22.2%
海拔の表示や避難誘導の方法等について、施設所有者と調整し今後検討する	6ヶ所	22.2%
止水板や止水扉等の新設、追加、強化(かさ上げ、軽量化、など)などを実施する	5ヶ所	18.5%
社内防災マニュアルに浸水対応に係る内容(タイムライン・収集すべき情報・対応等)を追加する	4ヶ所	14.8%
車路以外の出入口に止水板を設置する	2ヶ所	7.4%
浸水避難シミュレーションの結果を踏まえて、避難計画等を見直す	1ヶ所	3.7%
よりスピーディーに設置できる仕様への見直しを実施する	1ヶ所	3.7%
周辺施設との連携を図る	1ヶ所	3.7%
ドライエリアの浸水対策を検討する	1ヶ所	3.7%
接続ビル建替えの際に、ビルオーナーに対し止水板の導入設置を依頼する	1ヶ所	3.7%
必要に応じて既存対策の見直しや追加対策の導入を検討する	1ヶ所	3.7%
持ち運び式の排水ポンプを用意する	1ヶ所	3.7%
浸水時に地下ピットへ水を誘導できるよう、マンホールの蓋を格子タイプに変更する	1ヶ所	3.7%

③浸水対策に関して不安に思っていることがありましたらお書きください。

- ・ありと答えた駐車場が46ヶ所、なしと答えた駐車場が14ヶ所、無回答が7ヶ所でした。
- ・具体的な内容は次の通りです。(本質問は自由記述のため、事務局で類型化しております)(複数回答の場合もあります)
- ・夜間や休日など、或いは出入口が多いために、人手が足りないということを不安に思っている駐車場が最も多く、35ヶ所となりました。また、対策の実施や営業中止の判断が難しい、指示者と連絡とれないときに不安を覚える、といった回答が19ヶ所、訓練を行っていない、計画が未策定ということを不安に感じている駐車場が11ヶ所と続きます。

※割合は「あり」と答えた46ヶ所に対する数字

夜間や休日など人出が少ない時に十分対応できるか ／出入口の数に対して人が少ない	35ヶ所	76.1%
浸水対策実施や営業中止の判断が難しい／指示者と 連絡が取れないときに不安	19ヶ所	41.3%
訓練が未実施／計画が未策定	11ヶ所	23.9%
訓練や計画通りに対応できるか(異動時の習熟度の低下 や駆けつけまでの時間(無人のため)等を含む)	7ヶ所	15.2%
従業員の避難時期の判断	4ヶ所	8.7%
想定を超えた雨量(浸水高)の場合の対応	4ヶ所	8.7%
浸水対策実施後の出場希望者への対応	2ヶ所	4.3%
止水板を起動すると入出庫が出来なくなるため、利用 者への周知が必要となる	1ヶ所	2.2%
駐車場内に浸水した場合、近隣駐車場への移動を促す 必要がある	1ヶ所	2.2%
ドライエリア(換気取り入れ口)の浸水対策	1ヶ所	2.2%
車両の誘導	1ヶ所	2.2%
接続している施設(ビル等)が他社所有のため、単独で 判断できない	1ヶ所	2.2%
周囲の地下施設とつながっているため水の流れが把握 できない	1ヶ所	2.2%
担当人員が高齢のため、作業時のケガ等の事故が心配	1ヶ所	2.2%
隣接施設との連絡系統があいまい	1ヶ所	2.2%
追加対策に係る費用負担(行政の支援等)	1ヶ所	2.2%
地下鉄や周辺施設など多数の関係者と接続している 場合の実効的な連携(行政の支援等)	1ヶ所	2.2%
運用ルールの策定に苦慮	1ヶ所	2.2%

#### 質問4. 訓練や点検について

①浸水対策をされている場合、その対策に係る訓練や点検を行っていますか。

- ・浸水対策をしている62ヶ所の駐車場のうち、訓練や点検を行っていると言った駐車場が41ヶ所、行っていないと言った駐車場が2ヶ所、その他(検討中、不定期に実施、等)が13ヶ所、無回答が6ヶ所でした。
- ・具体的な内容は次の通りです。(本質問は自由記述のため、事務局で類型化しております)
- ・ビル側の人間が訓練を行っているという駐車場が最も多く、35ヶ所となりました。また、備品の点検を行っているという駐車場も19ヶ所と多く、12ヶ所は訓練と点検の両方を行っています。また、店舗の従業員なども加わって訓練を行っていると言った駐車場が1ヶ所ありました。

※割合は「行っている」と答えた41ヶ所に対する数字

ビル側の人間(駐車場管理員、防災センター、等)が訓練を行っている	35ヶ所	85.4%
備品(止水板、土のう、等)の点検(機械式止水板の稼働テストを含む)を行っている	19ヶ所	46.3%
店舗の従業員なども加わって訓練を行っている	1ヶ所	2.4%
駐車場のあるビル側から要請があった時は参加する	1ヶ所	2.4%
メーカーによる点検を行っている	1ヶ所	2.4%
地区の地下街等浸水対策協議会に参画している	1ヶ所	2.4%
新規配属時の教育として止水板や止水シートの設置訓練を行っている	1ヶ所	2.4%

#### 質問5. その他

浸水対策や浸水被害について気になることや知りたいことなどがありましたらお書きください。

- ・ありと答えた駐車場が33ヶ所、なしと答えた駐車場が20ヶ所、無回答が14ヶ所でした。
- ・具体的な内容は次の通りです。(本質問は自由記述のため、事務局で類型化しております)(複数回答の場合もあります)
- ・無人管理の場合も含め、どのレベルまで対応したらよいか(責任を問われなにか)ということに気になっているという回答が17ヶ所で最も多く、急激な浸水等で対応が間に合わない時の優先順位と浸水被害にあった車両への補償実績の有無や内容を知りたいという回答が、それぞれ12ヶ所で続きました。

※割合は「あり」と答えた33ヶ所に対する数字

どのレベルまで対応したらよいか(責任を問われないか)(無人管理の場合も含む)	17ヶ所	51.5%
急激な浸水等で対応が間に合わない場合に、どの対策を優先すべきか	12ヶ所	36.4%
浸水被害にあった車両への補償実績の有無や補償内容を知りたい	12ヶ所	36.4%
浸水対策を実施する際の支援策等の有無(助成金、税制優遇等)	5ヶ所	15.6%
内水氾濫の情報提供はあるか	4ヶ所	12.1%
他ビルの浸水対策状況やゲリラ豪雨等への対策(訓練を含む)などが知りたい	2ヶ所	6.1%
消防法での避難経路図のような表示が、浸水時の避難誘導経路についても必要か知りたい	2ヶ所	6.1%
止水板の設置(を判断する)基準について、他社事例を参考にしたい	2ヶ所	6.1%
局地的豪雨発生時の周辺の路面の冠水状態の速報などがあるとよい	1ヶ所	3.0%
豪雨時の職員待機有無の判断	1ヶ所	3.0%
ハザードマップの信頼性は高いと言われるが、駐車場の出入口ではどの程度正確なのか	1ヶ所	3.0%
地下街・地下鉄に浸水した場合にどのように水が接続ビルを流れていくのかシミュレーションしたい	1ヶ所	3.0%
他の地下駐車場で、浸水発生時に車両が故障した際の保険の扱いにどう対応しているのか知りたい	1ヶ所	3.0%
急激な浸水等で対応が間に合わない場合の責任の所在や程度が気になる	1ヶ所	3.0%
四日市市の事案では国が何らかの補償をすると報道にあったが、その根拠や基準、考え方を知りたい	1ヶ所	3.0%
今後、地下駐車場に一定の浸水対策が義務化される可能性はあるか	1ヶ所	3.0%
浸水対策設備の保守費用と浸水被害による損失額の差を知りたい(オーナー説明のため)	1ヶ所	3.0%
浸水対応の要否の判断に悩む(営業停止となるため)	1ヶ所	3.0%
駐車場が地下街、地下駅、大規模地下道などに接している場合、関係者間の連携を促進する取組が有効	1ヶ所	3.0%
悪天候等実際に浸水被害が発生しそうな際、近隣地下街はどのような基準で浸水対策を実施するのか	1ヶ所	3.0%
実際に浸水対策を実施した際、近隣施設への情報共有は行っているか	1ヶ所	3.0%
災害発生時の公的な補償や支援制度の有無を知りたい	1ヶ所	3.0%

4. 終わりに

- ・ 同じ地下駐車場であっても、浸水リスクが高いか低いか、ビル併設か単独か、周辺施設(地下街、地下駅、など)と接続しているか、などの違いによって、被害の有無や対策の内容等も変わってくると思います。今回の調査結果報告では、具体的な駐車場名を示したり関連付けたりすることはしていませんが、会員各位が今後の対策を検討するうえで、少しでもお役に立ちましたら幸いです。

以上



# 駐車場コラム



## ■ 駐車場出入口の安全対策

福岡大学工学部 社会デザイン工学科 助教 田部井 優也

### 1. はじめに

わが国では、駐車場整備は路外が中心である。路外駐車場を設置すると必然的に道路との民地境界に駐車場出入口を設けることになる。歩道が設置されていない道路を除き、大半は歩道を横切る形で駐車場に出入りすることになる。歩道を横切るのだから当然歩行者や自転車との錯綜が生じ、一定のリスクが発生する。さらに今後自動運転車の普及や駐車場集約化が進むことで、駐車場出入口で新たな問題が生じる可能性がある。本稿はこの駐車場出入口にフォーカスし、現状の問題点や安全対策の必要性について紹介する。

### 2. 駐車場出入口に関する各種法規

#### 2.1 駐車場法による出入口の設置位置の制限

駐車場法施行令第7条において、駐車場出入口の設置できない部分を示している。具体的なものについては割愛するが、道路交通法第44条第1項各号に該当する部分には、出入口を設置できないとしている。そのほか自動車の駐車のために供する部分の面積が6,000平方メートル以上の路外駐車場については、原則出口と入口を分離する構造にするなどの条項がある。ただし本施行令はあくまで民地側の構造を規定するものであって、出入口上(歩道上)の部分の構造を規定するものではない。

#### 2.2 歩道を横切る際の交通ルール

「1. はじめに」でも述べたように、現状駐車場出入口のほとんどは歩道に面して設置されている。この歩道上に設置された駐車場出入口を通行する際には、道路交通法第17条第1項において、「道路外の施設又は場所に入出するためやむを得ない場合において歩道等を横断するときには歩道を車両が通行できる」とされており、続く第2項において、「車両は、歩道等に入る直前で一時停止し、かつ、歩行者の通行を妨げないようにしなければならない」と明確に定められている。この道路交通法第17条の規定の存在が駐車場出入口の安全性を担保している。

しかしながら、実際にはこの法律は現状ほとんど守られていない。この条項の規定では、歩道を横切る際には、歩道上に歩行者がいなくても必ずその手前で一時停止しなければならないと解釈できるが、この規定が非常に難しい。実際に駐車場出入口を走行する場合を想像してみてもほしい。まず駐車場に入るとき歩道上に歩行者や自転車がいたらこれはほぼ間違いなく一時停止するだろう。しかし歩行者がいない時は多くの車両が一時停止を行っていないのではない

だろうか。特に右折して入庫する場合、対向車の合間を縫って右折する 경우가多く、歩道前の対向車線上で一時停止するのは非常に難しい。実際に筆者がこれまで都心部や郊外部などあわせて全国11か所の駐車場出入口で調査を行ったところ、歩行者がいない時の一時停止率は調査箇所によって多少のばらつきはあるものの、最低で0%、高い箇所でも4%程度であった<sup>1)</sup>。

逆に駐車場から出る場合は一時停止が守られていることが多い。出口は民地部分であることから、「止まれ」の路面標示や標識の設置を行っている駐車場管理者も多いだろう。出るときは止まるが、入るときは歩行者がいなければ止まらない、が一般的になっている。

### 3. 駐車場出入口での錯綜リスク

前章で交通ルールや現状の課題を述べたが、実際に駐車場出入口での交通状況、錯綜状況について触れたい<sup>1)</sup>。

まず走行速度に関し、歩道形式の違いでみたとき、近年バリアフリーの観点から整備が進められているセミフラット型(歩道面を車道面より2~3cm程度高くした形式)の歩道に設置される出入口では、既存の歩道で多く用いられているマウントアップ型(歩道面を車道面より15cm程度高くした形式)の歩道に設置された出入口に対し、通過時の平均速度が約5km/h有意に早くなることが分かっている。また接続道路を右折して入庫する車両は、左折して入庫する車両に対し1~2km/h程度早くなることが分かっている。

次に歩行者・自転車との錯綜状況をみると、接続道路を右折して入庫する車両は、左折して入庫する車両に対し、通過時の歩行者・自転車との通過時間差が平均して0.2~0.7秒程度短くなることが分かっている。また出入口周辺に歩行者がいるにもかかわらず先に入庫を行った場合は、歩行者を待ってから入庫した場合と比較し、平均して1~1.5秒程度通過時間差が短くなる傾向があることもわかっている。通過時間差が短くなると通過車両と歩行者・自転車が接近している、つまり危険な状況であることが示される。このように筆者のこれまでの調査により、状況によって出入口上で危険な錯綜が生じていることが定量的に分かってきた。一般的に右折入庫は交通処理の観点から禁止にするなどの措置が取られることが多いが、右折入庫に関しては交通安全の観点からも左折入庫に対し危険性が高く、原則禁止にすることが望ましいと言えるだろう。

また出入りの多い駐車場では出入口上に誘導員を配置することが多い。筆者はこの誘導員の配置の効果についても分析を行っている。その結果、誘導員が配置されている場合の方が通過時間の差の値が小さくなる結果がみられた。これは、誘導員が前面道路の円滑性を意識した誘導をしているからではないかと考えている。歩行者のわずかな切れ目を縫って入庫させるような誘導も時折見られ、このような場合に通過時間差が短くなると考えている。誘導員は、出入口上の歩行者の安全な通行を担保するために配置されるものである。しかしながら実際には歩行者が非常に多く入庫車両が通行できなくなり、道路上に入庫待ち行列が形成される場合に、やむを得ず歩行者の通行を止め、入庫車両を通過させるなどのケースも見られた。またこの際に誘導員の死角等から歩行者が通行し、危険な錯綜が生じる場面も観測された。誘導員の配置

がかならずしも駐車場出入口の安全性を向上させるわけではない可能性がある。

#### 4. おわりに

これまでに述べたように現行の駐車場出入口では安全性に関する様々な課題が存在する。特に右折入庫は道路交通法第17条の一時停止が困難であること、駐車場出入口上での歩行者・自転車との錯綜リスクが高まることを踏まえると、施設側で右折禁止の標識等の設置、右折させない誘導を行うなど、できる限り右折入庫を行わせない対策を実施することが望ましい。また誘導員の配置に関し、歩行者優先の誘導の徹底が必要であろう。今後自動運転の普及や駐車場集約化、ウォークアブルなまちづくりなど駐車場を取り巻く環境が大きく変化していく中で、新たな交通管理手法の導入の検討など、より安全な駐車場出入口を創出していくことが望まれる。

#### ・参考文献

- 1) 田部井優也, 辰巳浩, 小早川悟: 駐車場出入口における交通特性および錯綜事象に関する研究, 交通工学論文集, Vol.11, No.2, pp.A\_100-a\_108, 2025.

## 情報発信「アンテナ」(第27回)

### 「当社の機械式駐車設備の将来予想」

～台湾市場からみえるものの一考察～

新明和工業株式会社 パーキングシステム事業部

グローバル推進室長 小森 保彦

日本国内における立体駐車事業は、グローバル化された経済システムの影響下で、不動産市況の好不況に大きく左右されています。また、少子高齢化の進行や若年層の車離れにより、自動車保有台数が減少しており、この傾向が今後も続くことから、国内の立体駐車場市場は確実に縮小していくと予想されます。このような状況に対し、事業の維持・拡大を図るためには、海外事業の立ち上げによる売上・収益の獲得が不可欠です。したがって、海外事業の業容拡大を目指すことが求められます。

#### ■台湾新明和工業の設立

海外進出の第一歩として、2010年に台湾法人として機械式立体駐車場部門に特化した「台湾新明和工業股份有限公司」を設立しました。台湾を進出先に選定した理由は以下の3点です。

1. 台北市内では、違法駐車に対する法整備や取締りが厳しく、日本と同様にドライバーが駐車場を利用する習慣があります。また、機械式立体駐車場は事務所ビル、マンション、ホテルや銀行などのサービス施設、営業用(時間貸し)として広く普及しており、デベロッパーや建築会社に容易に受け入れられます。
2. 台湾では中国のような大規模な市場規模や将来的な規模拡大は期待できませんが、台北市を中心に立体駐車場の普及が進んでおり、特に当社の製品ラインナップの中で最も競争力があるエレベータ方式の市場が存在します。
3. 台湾での当社の技術提携先であった永大機電が乗用エレベータに事業を集中するため、立体駐車場事業から撤退を表明しています。これにより、当社が台湾で製品事業を展開する際、永大機電に営業販売協力をしてもらうことが可能です。



台湾新明和エレベータ方式初号機

## ■台湾市場の変化

2010年当時の台湾立体駐車場市場は、リーマンショックの影響から脱し、回復傾向にありました。特に当社の主力製品であるエレベータ方式の市場については、2009年度の受注基数は25基/年程度でしたが、建築計画の活性化や行政インフラ整備投資の強化により、2010年度には30~35基/年に回復すると推測されていました。

しかし、2010年前後の台湾における駐車場の付置義務に関して、「容積率ボーナス(増設停車空間)制度の廃止」と「都心部での設置基準の柔軟化」という相反する二つの大きな動きがありました。この結果、台湾のエレベータ方式の市場は大きく縮小することになりました。

右のグラフは、当社の調査による2020年度から2026年度までの機械式駐車設備の納入実績の予測を示しています。この資料から、エレベータ方式の納入基数は10基前後と、2010年度の予測時の約1/3に減少していることがわかります。また、地下式の市場がエレベータ方式市場の5倍程度になっていることも確認できます。



## ■「地下式」製品市場への参入

このような状況の中、当社は「地下式」製品市場への参入を視野に入れ、2021年に台湾の機械式駐車設備メーカーである嘉鈺機械の株式を10%取得し連携を図りました。そして2024年12月31日付で株式を60%取得し、嘉鈺機械の「地下式」製品シリーズを台湾新明和のラインナップに加えることで、台湾市場における事業拡大を図りました。



平面往復式



水平循環式(パズル式)



水平循環式



箱型循環式

「地下式」製品シリーズ

機械式駐車設備市場は公共性が高く、台湾の事例のように市場の動向が政策に大きく左右される特徴があります。この台湾での15年間の経験から、海外の機械式駐車設備事業を拡大するためには、市場の変化にどのように対応していくかが重要であることを学びました。

■東南アジア市場への進出

下の図は、日本およびASEAN諸国の一人当たりのGDP(US\$)と日本の機械式駐車設備の設置実績の推移を示しています。日本では、一人当たりのGDPの成長と機械式駐車設備の設置がリンクしていることがわかります。他の要因もありますが、この傾向からASEAN諸国も今後の経済成長に伴い、機械式駐車設備の市場が大きくなることが期待されます。



当社はASEAN諸国の中で、特にタイを戦略地域と位置づけ、進出を進めてきました。タイはASEAN地域の中でも都市開発が著しく進んでおり、自動車の普及率が向上しています。しかし、駐車場付置義務が施行されているにもかかわらず、都市インフラとしての駐車環境の整備が追いついていません。そこで、当社がこれまで培ってきた駐車施設に関する豊富なノウハウや総合的な提案力、および高品質な製品と保守の提供といった強みを現地で発揮することで、駐車環境の整備に貢献できると考えています。



「エレパーク®」 ショールーム  
 「G-PARK & ShinMaywa Tower」

2019年には、タイの機械式駐車設備販売会社であるGENERAL AUTOMATIC CARS PARKING SYSTEM CO., LTD.(以下、G-PARK社)と販売代理店契約を締結しました。そして、G-PARK社本社内(バンコク)にエレベータ方式駐車設備「エレパーク®」のショールームとなる「G-PARK & ShinMaywa Tower」を建設しました。

このショールームは、日本でも類を見ない機械式駐車設備のショールームとして、顧客ニーズに応える多様なオプション仕様を盛り込んでおり、タイのオーナーやユーザーをはじめとするさまざまなお客様に新明和ブランドの豊富なバリエーションや品質の高さ、安全性、快適性などを体感していただける施設となっています。当社とG-PARK社との協業のシンボルとして、このショールームを通じて各種ノウハウおよび海外での事業スキームを確立することで、将来的にはASEAN諸国における事業拡大を目指しています。

海外の機械式駐車設備市場は、ASEAN諸国を中心に、今後ますます発展していくと予想されます。ただし、その発展の速度は、世界経済の動向や各国の政治情勢に大きく左右されます。これらの状況を適時見極めながら、市場の拡大に対応していくことが必要になるのではないのでしょうか。

## 駐車場管理システムに先端技術を提供します。

株式会社 富士ダイナミクス

地域の再開発、土地空間の有効活用など駐車場は都市機能には欠かせないスペースとなっています。病院、ショッピングセンター、レジャー施設など、目的に合わせたシステムを提供します。

### 先端技術のご提供

#### ■ Edy（電子マネー付）会員カードシステム

事前にチャージしているバリューから支払いが可能。現金でのやり取りがないため、安全且つスピーディーに精算できます。  
ICカードに駐車場利用状況をポイントとして蓄積し、ポイントに応じた割引等のサービスにより、リピーターの獲得が可能となります。

#### ■ DSRC連動・入退場システム

ETC車載器を搭載している車両は、自動ゲート開閉によるスムーズな入退場ができ、尚且つ決済の自動化によりキャッシュレスでの入退場が可能です。

### 駐車料金精算システム

#### ■ 全自動出口精算システム

#### ■ 車番認識システム

#### ■ 認証システム

#### ■ 出口有人精算システム

#### ■ 機械式駐車装置連動システム

#### ■ キャッシュレス精算システム

#### ■ フラップ式精算システム

#### ■ POS連動精算システム

#### ■ 事前精算システム

#### ■ 均一料金精算システム

### 入出庫管理システム

#### ■ ICカードシステム

#### ■ バスカードシステム

#### ■ リサイクルカードシステム

#### ■ チェーンゲートシステム

#### ■ リモコンゲートシステム

### 駐車場管制システム

#### ■ 車路管制システム

#### ■ 駐車場満空管理システム

#### ■ 各階台数計数システム

#### ■ 車室在否管理システム

#### ■ CCTV監視システム

三菱プレジジョン（株）代理店

株式会社 富士ダイナミクス

ホームページ <http://www.fuji-dynamics.co.jp/>

●本 社 東京都目黒区青葉台1-28-9  
TEL 03 (3793) 5411

●名古屋営業所 名古屋市長区大新町1-2-6  
ロイヤル牛巻第1 2階  
TEL 052 (883) 0700

●丸の内サービスセンター 東京都千代田区有楽町1-10-1  
有楽町ビル 4階 421  
TEL 03 (3287) 0594

●湘南サービスセンター 鎌倉市山崎 662-2  
TEL 0467 (45) 6867

●相模原出張所 相模原市中央区矢部1-3-14  
大河原ビル201号室  
TEL 042 (730) 6611

●営業本部 東京都目黒区東山1-4-4  
目黒東山ビル4階  
TEL 03 (3793) 7411

●大阪営業所 大阪市東淀川区東中島2-9-15  
TEL 06 (6325) 2761

●横浜サービスセンター 横浜市西区みなとみらい2-2-1  
横浜ランドマークタワー29階  
TEL 045 (224) 2256

●羽田サービスセンター 東京都大田区羽田空港 3-3-2  
東京国際空港旅客ターミナルビル  
三菱プレジジョン株式会社 内  
TEL 03 (5756) 7245

●仙台営業所 仙台市太白区富沢1-11-21  
TEL 022 (244) 5461

●福岡営業所 福岡市博多区中呉服町3-10  
勝治呉服町ビル  
TEL 092 (282) 3491

●湘南事業所 鎌倉市山崎662-2  
TEL 0467 (45) 6867

●さいたま出張所 埼玉県さいたま市浦和区仲町1-9-1  
浦和パーキングセンター内4F  
TEL 048 (764) 9290

# これからの都市パーキングに、 三菱プレジジョン。



## ロック板システム

小スペースでの駐車場運営に最適なシステムです。  
規模に合わせたシステムをご用意します。



## DSRC システム

駐車場出入口上に専用のアンテナを設置し、登録済みの DSRC 車載器搭載車両がくると自動でゲートが開きます。



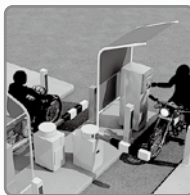
## 車番認識システム

駐車場出入口に設置したカメラでナンバープレート内の情報を記録。情報は文字データとして PC 管理できます。



## 駐輪システム

自転車・バイク両方の駐輪システムをラインナップ。  
車両をロックやチェーンで個別に管理して 1 台の精算機で集中管理するシステムと、出入口をゲートで管理する 2 種類のシステムをご用意。  
駐輪場の規模や立地環境に合わせたシステム構成をご提案します。



\*駐車場の運営管理についても私たちにご相談ください。

創造と信頼で未来をひらく  
**三菱プレジジョン株式会社**

本社・営業本部

〒108-0075 東京都港区港南1-6-41

芝浦クリスタル品川8階

<https://www.mpcnet.co.jp>

お問合せ先

**駐車場システム営業部 ☎03-6712-1732**

中部支社 052-961-3557

静岡営業所 054-204-4505

関西支社 06-6484-7206

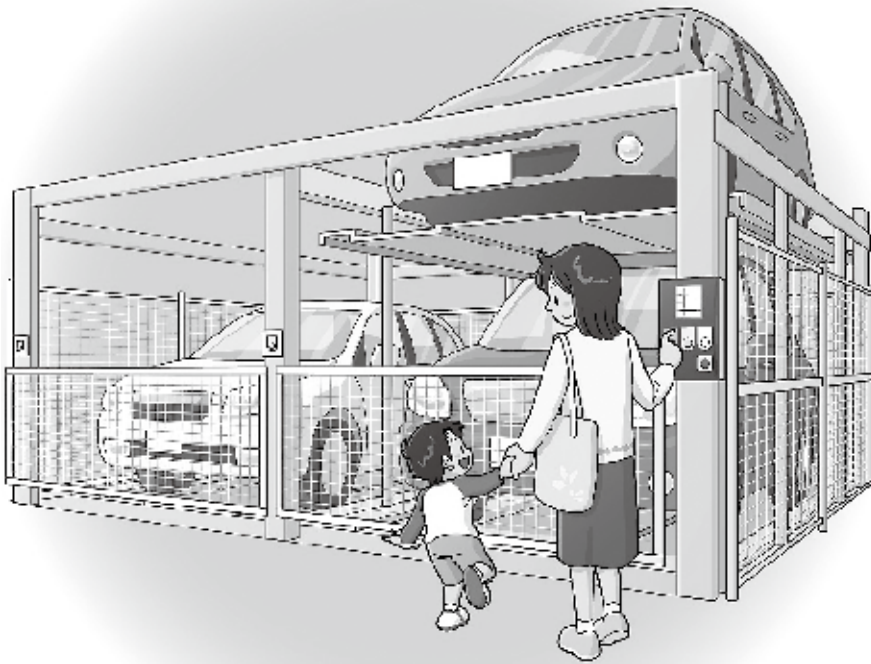
中四国営業所 082-546-2176

北海道営業所 011-213-7826

九州営業所 092-273-0880

東北営業所 022-216-4615

**公益社団法人 立体駐車場工業会は、平成27年1月から  
施行されました新大臣認定制度の登録認証機関です。**



公益社団法人 立体駐車場工業会とは—

平成27年1月1日施行の駐車場法施行規則の認証機関として登録されました。

大臣認定制度に規定された「安全機能に関する基準」をクリアする当工業会が定めた「機械式駐車装置の安全機能に関する認証基準」に基づき、審査・認証を厳格に実施してまいります。

その他、従来審査・認定をしていた車いす使用者対応等の認定も行います。

「安全で便利で信頼性の高い駐車場の提供」これが当工業会の願いです。

**人にやさしい機械式立体駐車場の普及に努めています。**



公益社団法人 **立体駐車場工業会**

Japan Parking System Manufacturers Association Incorporated

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目9番9号 SHビル6階

TEL. (03) 5542-0733 FAX. (03) 5542-0735

ホームページ <https://www.ritchu.or.jp/>

## あらゆる駐車場に対応した総合メンテナンス会社

日本全国 24時間365日 大小問わず 合理的な料金でOK!!

### 日本駐車場救急サービス株式会社

#### ■会社概要

当社は、平成5年12月、駐車場関係諸官庁、団体、メーカー等のご要請により、業界の健全な発展のため、自動車業界のJAFを模して、駐車装置の保守サービス専門会社として設立されました。当社は日本全域24時間体制のもと、合理的な料金で対応できるネットワークで構築されております。

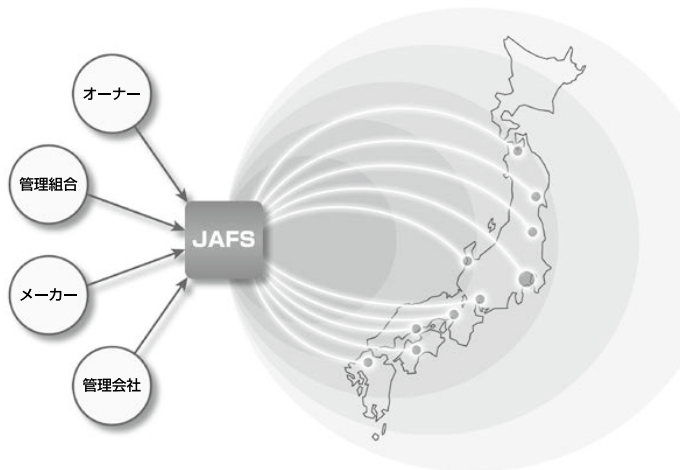
業務の内容は、定期メンテナンス（点検、調整、給油）24H故障対応、補修工事などを行います。

JAFSのアフターサービスシステムは、単なるメンテナンス工事の下請けではありません。

アフターサービス、メンテナンスのデータを収集・分析して、的確にフィードバックし、機器の改善、開発、更にはリプレースにも貢献します。

貴社のアフターサービス活動そのものをお引き受けるアウトソーシングシステムです。

社名	日本駐車場救急サービス株式会社
代表者	代表取締役 森井 清
設立	1993年(平成5年)12月
資本金	2,000万円
社員数	40名
事業内容	1.駐車場、駐輪場設備の保守管理及び緊急出動 2.駐車場、駐輪場の遠隔監視及び警備 3.駐車場、駐輪場の建設及び修繕工事 4.駐車場、駐輪場の運営管理
機械器具設置事業	東京都知事許可 第104599号
警備業認定	東京都公安委員会 第2380号
支店	大阪 大宮 金沢 福岡 名古屋



#### 定期メンテナンス



点検、調整、給油

#### 補修工事



定期点検で発見された不具合を迅速に補修、修理

#### 緊急出動



24時間体制でスタッフが徹底監視！お客様の要望に合った合サービスステーションへ

#### 全国実績及びサービスステーションネットワーク (2011.11 現在)

##### 全国実績

東北地区	10件	250 バレット
関東地区	2,300件	58,000 バレット
中部地区	200件	6,000 バレット
関西地区	300件	10,000 バレット

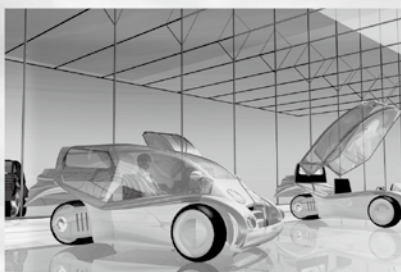
中国・四国地区	150件	3,500 バレット
九州地区	100件	2,500 バレット

合計 約3,060件 約80,250バレット

一般社団法人東京駐車協会賛助会員

【お問い合わせ】 日本駐車場救急サービス株式会社

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町9-9 TEL.03-3663-1755 FAX.03-3663-1750 URL.https://www.jafs99.co.jp/



日本信号は、「安全と信頼」のテクノロジーをもとに、  
より快適な交通社会の実現を

これからも目指し続けます。

 **日本信号株式会社**  
**NIPPON SIGNAL**

[www.signal.co.jp/](http://www.signal.co.jp/)

■AFC事業部 AFC営業部  
〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 (新丸の内ビルディング13階)  
PHONE:(03)3217-7373 FAX:(03)3217-7377

■大阪支社 交通システム営業部  
〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4(大阪富国生命ビル 8階)  
PHONE:(06)6312-3856 FAX:(06)6312-8597

■北海道支店 ■東北支店 ■中部支店 ■九州支店

# ◆ PARKING NOW ◆

## ■ 警察庁生活安全局「自動車盗難等の発生状況について」

一般社団法人全日本駐車協会事務局

当協会が参画しております『自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム』では、自動車盗難等防止行動計画(※)を去る2月17日に開催された第35回官民合同PT会議にて可決承認し、公表しております。(※：以下のURLを参照)

<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/bouhan/car/zidoushatounanbousikoudoukeikaku.pdf>

これに連動する形で、3月には警察庁生活安全局生活安全企画課より『自動車盗難等の発生状況等について』が公表されておりますので、お知らせいたします。また、参考資料として、警察庁統計を一部加工した追加資料を後段に掲出しますので、合わせてご覧願います。

### 1 自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチームの概要

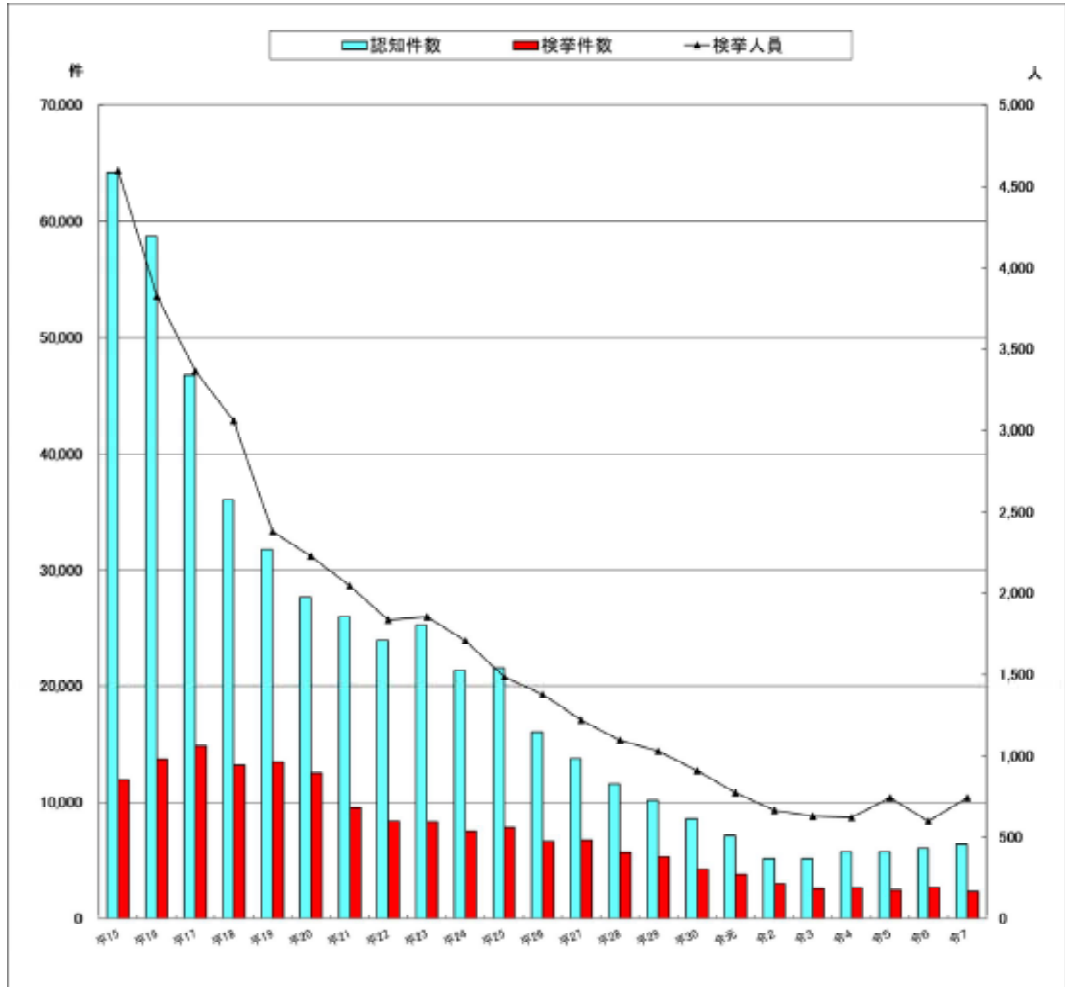
「国際組織犯罪等対策に係る今後の取組みについて」(平成13年8月29日国際組織犯罪等対策推進本部決定)に基づき、自動車の盗難及び盗難自動車の不正輸出を防止するための総合的な対策について検討するため、「自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム」を設置し、同プロジェクトチームにおいて策定した「自動車盗難等防止行動計画」(平成14年1月策定、令和8年2月改定)に基づく各種取組を関係省庁や関係団体等が連携して実施しています。

### 2 自動車盗難の情勢

自動車盗の認知件数は、官民連携による各種取組を実施した結果、ピーク時と比較して1割以下にまで減少していますが、令和4年以降は増加しており、また、近年の自動車盗難事件は、特定の車種を対象として窃取し、盗難自動車を一時的に駐車場等に保管し、その後、都道府県境をまたいで悪質な自動車解体ヤード等(自動車解体ヤード、その代替として利用されている倉庫、中古自動車販売店、自動車等保管場所、自動車修理工場等をいう。)に持ち込み、海外に不正に輸出している実態がうかがわれるなど、巧妙な手口で、組織的・広域的に敢行される例が多く見られます。さらに、犯行グループは、その中核部分の構成等が外部からは見えず、メンバーを入れ替えながら犯行を繰り返しており、正に、匿名・流動型犯罪グループの特徴を有しています。

### 3 自動車盗の認知・検挙件数・検挙人員の推移

自動車盗の認知件数は、平成15年(6万4,223件)のピーク時から大幅に減少しており、令和7年は6,386件とピーク時から1割以下にまで減少しています。検挙件数については、平成17年(1万4,898件)以降、減少傾向にあります。一方、検挙率については、令和7年は37.3パーセントになっており、約4割が検挙されています。



	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4	令5	令6	令7
認知件数	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,668	25,960	23,970	25,238	21,319	21,529	16,104	13,821	11,655	10,213	8,628	7,143	5,210	5,182	5,734	5,762	6,080	6,386
増減数(前年比)	1,550	-5,486	-12,009	-10,670	-4,268	-4,122	-1,708	-1,990	1,268	-3,919	210	-5,425	-2,283	-2,166	-1,442	-1,585	-1,485	-1,933	-28	552	28	318	306
増減率(前年比)	2.5	-8.5	-20.4	-22.8	-11.8	-13.0	-6.2	-7.7	5.3	-15.5	1.0	-25.2	-14.2	-15.7	-12.4	-15.5	-17.2	-27.1	-0.5	10.7	0.5	5.5	5.0
検挙件数	11,931	13,765	14,898	13,288	13,507	12,569	9,557	8,433	8,377	7,556	7,857	6,689	6,755	5,713	5,357	4,248	3,845	3,006	2,556	2,612	2,462	2,683	2,379
検挙人員	4,599	3,823	3,366	3,056	2,380	2,228	2,045	1,837	1,856	1,708	1,484	1,375	1,224	1,100	1,034	914	778	666	634	625	745	600	744
検挙率	18.6	23.4	31.9	36.9	42.5	45.4	36.8	35.2	33.2	35.4	36.5	41.5	48.9	49.0	52.5	49.2	53.8	57.7	49.3	45.6	42.7	44.1	37.3

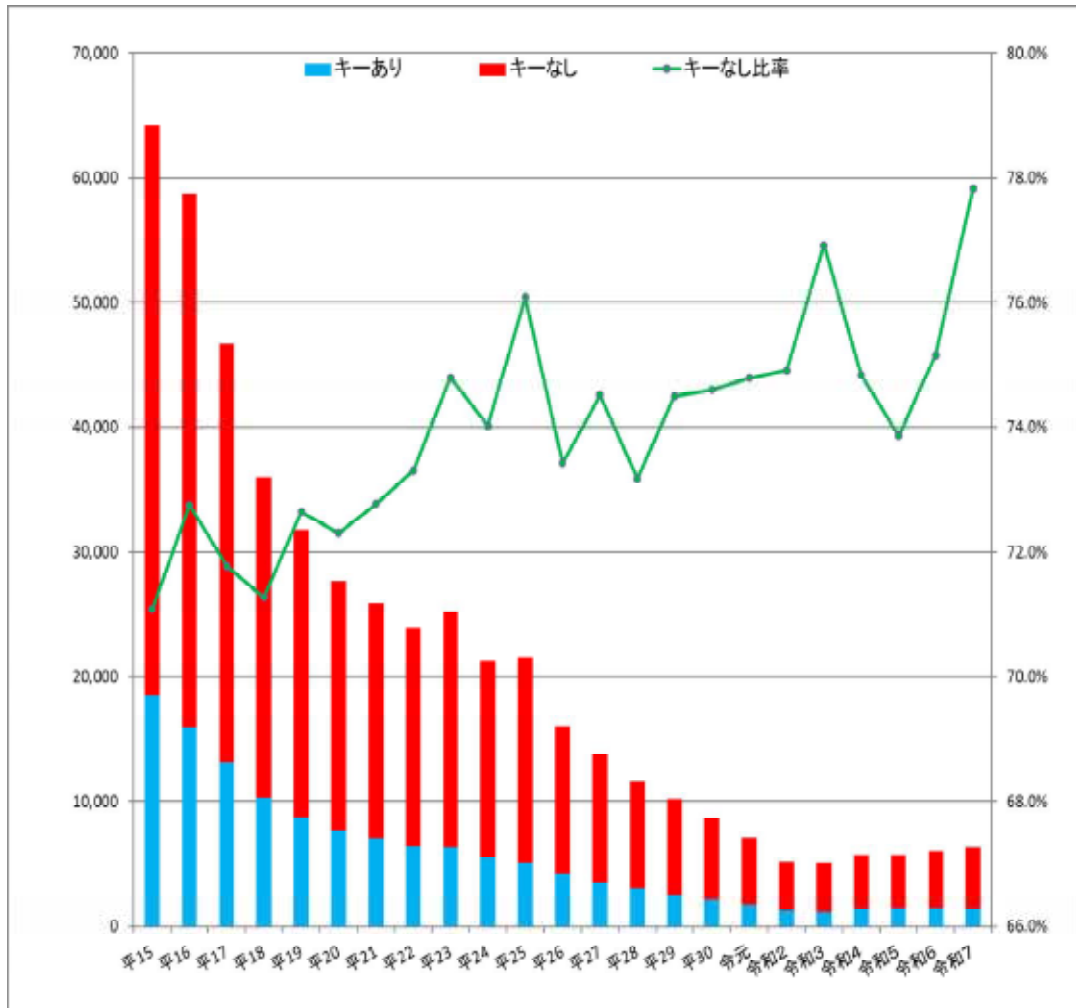
### 4 自動車盗の都道府県別認知・検挙件数・検挙人員

自動車盗の都道府県別認知件数を見ますと、認知件数の上位5県(愛知県、埼玉県、神奈川県、茨城県、千葉県)で全体の55.4パーセントを占めています。

都道府県	認知件数				検挙件数				検挙人員				
	令和7年	令和6年	増減		令和7年	令和6年	増減		令和7年	令和6年	増減		
			件数	%			件数	%			人員	%	
総数	6,386	6,080	306	5.0%	2,379	2,683	-304	-11.3%	744	600	144	24.0%	
北海道	78	93	-15	-16.1%	62	79	-17	-21.5%	30	28	2	7.1%	
東北	青森	19	17	2	11.8%	7	18	-11	-61.1%	6	11	-5	-45.5%
	岩手	11	15	-4	-26.7%	9	9	-	0.0%	8	5	3	60.0%
	宮城	36	32	4	12.5%	22	17	5	29.4%	12	11	1	9.1%
	秋田	3	5	-2	-40.0%	3	2	1	50.0%	3	2	1	50.0%
	山形	10	5	5	100.0%	11	4	7	175.0%	7	4	3	75.0%
	福島	56	104	-48	-46.2%	68	22	46	209.1%	3	5	-2	-40.0%
東京	164	223	-59	-26.5%	110	135	-25	-18.5%	47	43	4	9.3%	
関東	茨城	540	567	-27	-4.8%	219	416	-197	-47.4%	18	25	-7	-28.0%
	栃木	291	318	-27	-8.5%	73	71	2	2.8%	13	7	6	85.7%
	群馬	323	274	49	17.9%	95	28	67	239.3%	10	9	1	11.1%
	埼玉	756	781	-25	-3.2%	184	524	-340	-64.9%	64	29	35	120.7%
	千葉	539	706	-167	-23.7%	263	331	-68	-20.5%	37	34	3	8.8%
	神奈川	649	536	113	21.1%	204	186	18	9.7%	20	13	7	53.8%
	新潟	27	34	-7	-20.6%	20	19	1	5.3%	10	9	1	11.1%
	山梨	24	48	-24	-50.0%	21	17	4	23.5%	7	5	2	40.0%
	長野	93	58	35	60.3%	36	19	17	89.5%	14	7	7	100.0%
	静岡	221	79	142	179.7%	42	31	11	35.5%	16	22	-6	-27.3%
中部	富山	24	16	8	50.0%	9	12	-3	-25.0%	5	7	-2	-28.6%
	石川	30	11	19	172.7%	11	9	2	22.2%	6	2	4	200.0%
	福井	10	4	6	150.0%	7	3	4	133.3%	8	3	5	166.7%
	岐阜	173	127	46	36.2%	26	66	-40	-60.6%	9	17	-8	-47.1%
	愛知	1,051	866	185	21.4%	156	169	-13	-7.7%	61	55	6	10.9%
	三重	91	76	15	19.7%	76	38	38	100.0%	8	7	1	14.3%
近畿	滋賀	60	56	4	7.1%	14	17	-3	-17.6%	21	15	6	40.0%
	京都	61	50	11	22.0%	18	15	3	20.0%	6	13	-7	-53.8%
	大阪	526	417	109	26.1%	148	96	52	54.2%	82	48	34	70.8%
	兵庫	118	150	-32	-21.3%	107	58	49	84.5%	35	29	6	20.7%
	奈良	25	36	-11	-30.6%	16	23	-7	-30.4%	8	13	-5	-38.5%
	和歌山	15	9	6	66.7%	14	3	11	366.7%	5	2	3	150.0%
中国	鳥取	5	7	-2	-28.6%	4	5	-1	-20.0%	1	3	-2	-66.7%
	島根	5	3	2	66.7%	5	4	1	25.0%	3	3	-	0.0%
	岡山	57	51	6	11.8%	57	21	36	171.4%	13	8	5	62.5%
	広島	22	18	4	22.2%	11	28	-17	-60.7%	8	5	3	60.0%
	山口	6	18	-12	-66.7%	10	15	-5	-33.3%	11	14	-3	-21.4%
四国	徳島	5	9	-4	-44.4%	4	5	-1	-20.0%	3	2	1	50.0%
	香川	21	7	14	200.0%	12	5	7	140.0%	7	3	4	133.3%
	愛媛	19	18	1	5.6%	13	16	-3	-18.8%	9	7	2	28.6%
	高知	6	11	-5	-45.5%	5	9	-4	-44.4%	6	4	2	50.0%
九州	福岡	59	63	-4	-6.3%	46	30	16	53.3%	21	16	5	31.3%
	佐賀	5	20	-15	-75.0%	37	10	27	270.0%	6	3	3	100.0%
	長崎	7	8	-1	-12.5%	7	2	5	250.0%	2	1	1	100.0%
	熊本	18	20	-2	-10.0%	11	15	-4	-26.7%	11	9	2	22.2%
	大分	11	10	1	10.0%	12	11	1	9.1%	6	9	-3	-33.3%
	宮崎	10	9	1	11.1%	8	7	1	14.3%	6	4	2	50.0%
	鹿児島	46	37	9	24.3%	26	27	-1	-3.7%	13	12	1	8.3%
沖縄	60	58	2	3.4%	60	36	24	66.7%	39	17	22	129.4%	

### 5 自動車盗の認知件数(キーあり・キーなし)の推移

自動車盗に占める、キーなしの比率は、平成15年以降、70パーセント台で推移しており、令和7年は全体の77.8パーセントと過去最も高い割合となっており、概ね4台に3台がキーなしの状態被害に遭っています。



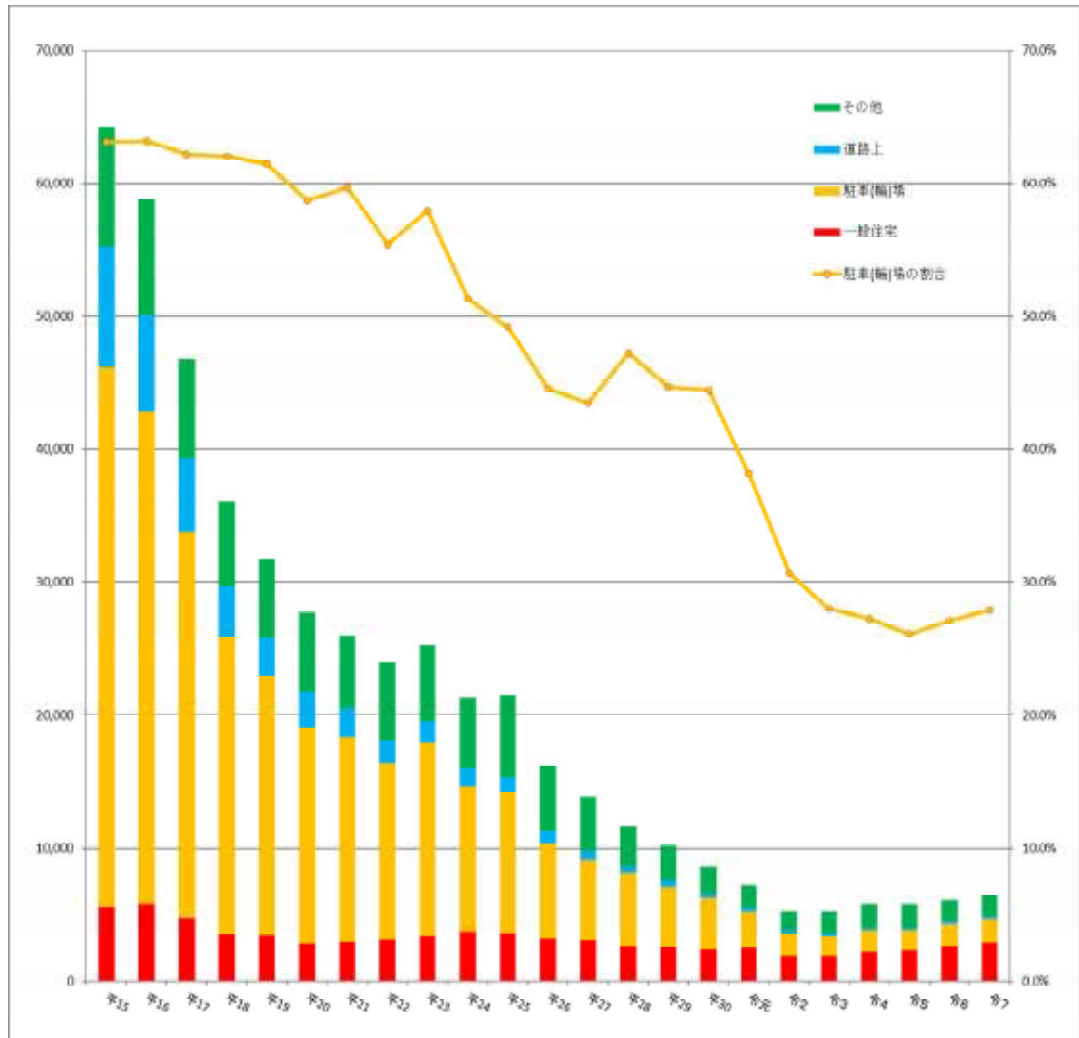
	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
認知件数	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,668	25,960	23,970	25,238	21,319	21,529	16,104	13,821	11,655	10,213	8,628	7,143	5,210	5,182	5,734	5,762	6,080	6,386
キーあり	18,568	15,999	13,186	10,355	8,695	7,663	7,066	6,396	6,362	5,537	5,149	4,279	3,523	3,125	2,605	2,192	1,801	1,307	1,196	1,443	1,506	1,510	1,416
キーなし	45,655	42,738	33,542	25,703	23,095	20,005	18,894	17,574	18,876	15,782	16,380	11,825	10,298	8,530	7,608	6,436	5,342	3,903	3,986	4,291	4,256	4,570	4,970
キーなし比率	71.1	72.8	71.8	71.3	72.6	72.3	72.8	73.3	74.8	74.0	76.1	73.4	74.5	73.2	74.5	74.6	74.8	74.9	76.9	74.8	73.9	75.2	77.8

※「キーあり」とは、エンジンキーがイグニッションスイッチに差し込まれ、又は運転席若しくはその周辺に放置されていて被害に遭ったもの。

※「キーなし」とは、「キーあり」以外のもの。

## 6 自動車盗の発生場所別認知件数の推移

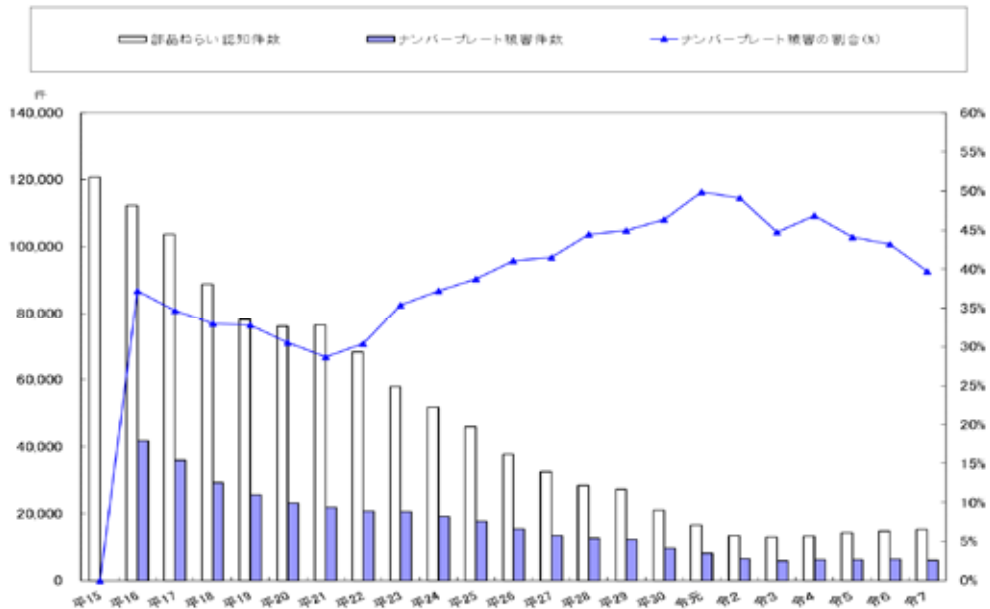
自動車盗の発生場所については、「一般住宅」が最も多く、令和7年は全体の45.2パーセントと過去最も高い割合となっています。また、依然として「駐車場」における発生も多く、令和7年は全体の27.9パーセントとなっています。



	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4	令5	令6	令7
認知件数	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,668	25,960	23,970	25,238	21,319	21,529	16,104	13,821	11,655	10,213	8,628	7,143	5,210	5,182	5,734	5,762	6,080	6,386
一般住宅	5,574	5,756	4,722	3,458	3,374	2,822	2,912	3,112	3,331	3,690	3,564	3,173	3,097	2,614	2,496	2,373	2,460	1,915	1,907	2,229	2,296	2,609	2,885
駐車(輪)場	40,499	37,083	29,036	22,346	19,535	16,237	15,487	13,265	14,607	10,937	10,581	7,160	6,003	5,498	4,558	3,828	2,726	1,598	1,448	1,558	1,500	1,643	1,780
道路上	9,110	7,203	5,519	3,828	2,857	2,668	2,130	1,728	1,622	1,338	1,215	917	726	544	503	356	319	218	180	190	207	212	200
その他	9,040	8,695	7,451	6,426	6,024	5,941	5,431	5,865	5,678	5,354	6,169	4,854	3,995	2,999	2,656	2,071	1,638	1,479	1,647	1,757	1,759	1,616	1,521
一般住宅の割合	8.7%	9.8%	10.1%	9.6%	10.6%	10.2%	11.2%	13.0%	13.2%	17.3%	16.6%	19.7%	22.4%	22.4%	24.4%	27.5%	34.4%	36.8%	36.8%	38.9%	39.8%	42.9%	45.2%
駐車(輪)場の割合	63.1%	63.1%	62.1%	62.0%	61.5%	58.7%	59.7%	55.3%	57.9%	51.3%	49.1%	44.5%	43.4%	47.2%	44.6%	44.4%	38.2%	30.7%	27.9%	27.2%	26.0%	27.0%	27.9%

### 7 ナンバープレート盗難の被害状況

車両の部品が盗難被害に遭う「部品ねらい」の認知件数は、平成14年以降、大幅に減少しています。一方で、部品ねらいに占めるナンバープレートの被害の割合は、令和7年は39.7パーセントと、依然として高い割合となっています。盗難されたナンバープレートは他の犯罪に悪用されるケースもあるため、警察では、防盜性が高い「盗難防止ネジ」の普及促進を図っています。



	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4	令5	令6	令7
部品ねらい認知件数	120,726	112,161	100,772	88,739	78,016	76,109	76,342	68,375	57,981	51,828	45,981	37,797	32,600	28,403	27,353	20,966	16,585	13,453	13,047	13,301	14,310	14,724	15,216
うちナンバープレート被害件数	-	41,735	35,981	29,274	25,569	23,207	21,869	20,745	20,482	19,256	17,817	15,509	13,529	12,629	12,289	9,709	8,267	6,608	5,833	6,231	6,311	6,355	6,043
ナンバープレート被害の割合 (%)	-	37.2%	34.7%	33.0%	32.8%	30.5%	28.6%	30.3%	35.3%	37.2%	38.7%	41.0%	41.5%	44.5%	44.9%	46.3%	49.8%	49.1%	44.7%	46.8%	44.1%	43.2%	39.7%

※部品ねらいは、自動車、オートバイ、自転車等に取り付けてある部品、付属品を窃取する手口である。

※ここでいうナンバープレートの盗難被害件数は、部品ねらいにおけるナンバープレートの被害件数であり、部品ねらい以外の手口によるナンバープレートの被害件数は含まれていない。

※一つの事件について3以上の品物の盗難被害があった場合、被害品数は3品目を限度として計上しているので、ナンバープレートが被害品として計上されていない場合があり得る。

※平成15年以前は、ナンバープレートの盗難被害件数の統計はない。

## 8 車名別盗難台数の状況

令和7年及び令和7年中における車名別盗難台数の状況は下記のとおりです。

メーカー	車名（通称名）	令和7年		令和6年	
		盗難台数	千台 当たり	盗難台数	千台 当たり
トヨタ	ランドクルーザー	1177	3.5	1064	3.4
トヨタ	プリウス	424	0.2	539	0.3
トヨタ	アルファード	303	0.4	488	0.7
トヨタ	ハイエース	209	0.2	170	0.2
トヨタ	レクサスRX	209	1.7	165	1.4
トヨタ	レクサスLX	195	19.7	230	23.3
トヨタ	クラウン	173	0.2	101	0.1
ダイハツ	ハイゼット	114	—	103	—
トヨタ	レクサスLS	108	1.4	76	1.0
スズキ	キャリイ	92	—	96	—

※「盗難台数」とは盗難等車両手配がなされた車名が明らかな車両であり、未遂等を含まないため、犯罪統計における自動車盗難認知件数とは異なる。

※「千台当たり」とは、車名(通称名)別盗難台数を、自動車保有車両数(一般財団法人自動車検査登録情報協会統計「自動車保有車両数(各年3月末現在)」で除し、1000を乗じた数である。(軽四乗用自動車等については、自動車保有車両数にかかるデータがないことから「—」としている。)

※なお、自動車盗難においては、新しい年式の車のほか、古い型式の車やトラック(大型・中型・小型)を狙った犯行も発生している。

## 9 自動車盗難の防止対策等

### (1)盗難による被害

- 不便になって仕事や日常生活に支障を来すことになります。
- 愛車がなくなり、ローンが残ってしまいます。
- 車両に置いていたクレジットカード、運転免許証、携帯電話等が不正に使用されたり、他の犯罪に利用される可能性があります。
- 被害車両が発見されても、損傷が激しく、これまでのように使用できないことがあります。

### (2)主な盗難の手口

- CANインバーダー等の特殊な機器により、自動車の電子制御ユニットに不正信号を送信するなどしてドアロックの解除、エンジンを始動させる。
- 窓の隙間から針金等を差し込む、ハンマー等で窓ガラスを破壊する、ピッキング工具を使用するなどして車内に侵入し、キープログラマー等の特殊な機器により、エンジンキーを複製する。
- リレーアタックと言われる手口により、玄関先等に保管しているスマートキーから発する微弱な電波を特殊な機器で中継してドアロックの解除、エンジンを始動させる。
- 車体にマグネット等で隠しているスペアキーを探し出す。
- 家に侵入し、車のキーを盗む。
- レッカー、けん引車で車を丸ごと盗む。
- 鍵を預かる施設で車の使用者になりすましてキーを受け取る。

### (3)盗難防止対策

- 確実な施錠  
短時間でも車から離れる時は、窓を完全に閉め、ドアロックをしましょう。
- 盗難防止装置の複合的な活用  
センサーが衝撃・振動・音等の異常を感知し警報音を発する警報装置、ハンドルロックやホイールロック等の固定器具、GPS追跡装置等の盗難防止装置を活用するとともに、防犯ステッカーの貼付やセンサーライト、防犯カメラの設置など、複数の対策を組み合わせた防犯対策を講じましょう。また、車種を特定させないために自動車用ボディカバーも有効です。
- 鍵の適切な保管  
リレーアタックによる被害を防止するため、スマートキーは玄関先に置かず、電波を遮断できるケースに入れる等の対策をしましょう。
- 自宅駐車場への対策及び防犯設備が充実した駐車場の利用  
自動車盗難は、自宅駐車場で最も多く発生していますので、自宅駐車場にセンサーライトや防犯カメラ、車止めポールなどを設置しましょう。また、自宅以外の駐車場を利用する場合は、見通しがよく、防犯カメラや照明等の防犯設備が充実し、管理された駐

車場を利用しましょう。

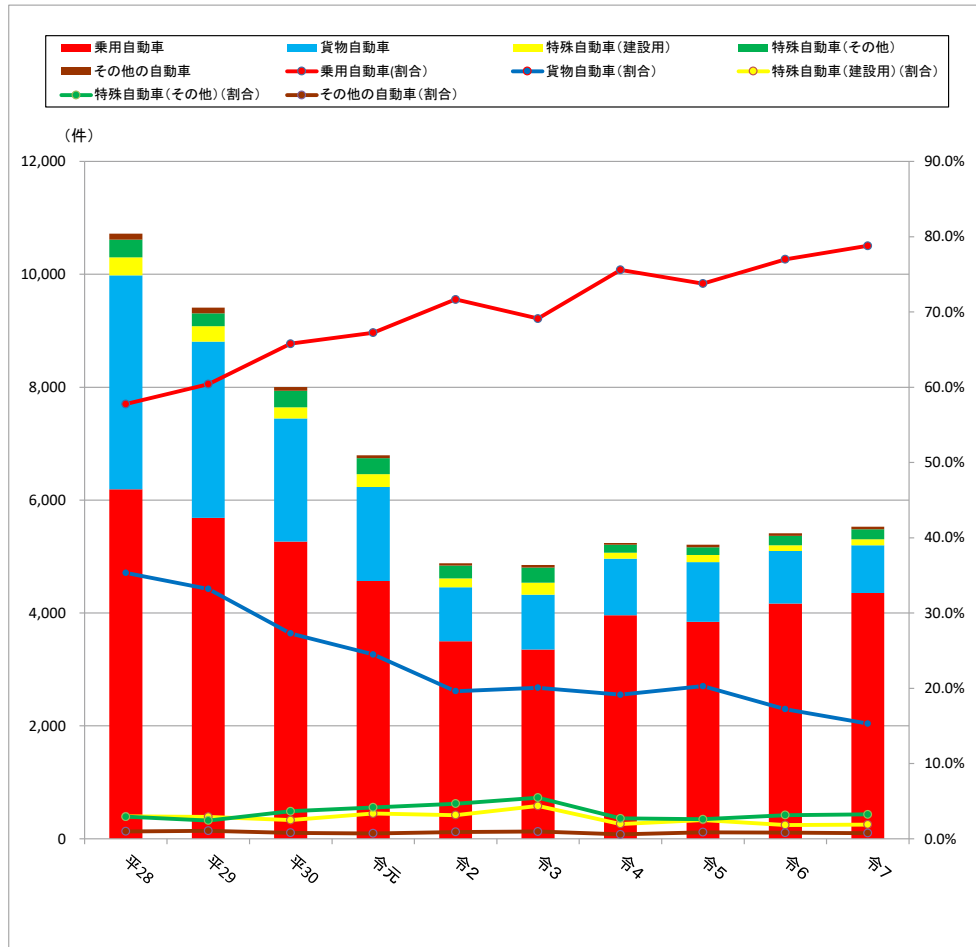
○ 貴重品は車内に放置しない

車内に現金、カード類やカバン等の貴重品を放置したままにすると車上ねらいの被害に遭う可能性が高くなります。車からを離れる時は、短時間であってもドアロックをして、貴重品は必ず持ち出しましょう。

○ 自動車部品に対する盗難防止対策

ナンバープレートやタイヤ、ホイール等の部品ねらいに注意が必要です。盗難防止ネジなどでしっかり固定するなどの対策をしましょう。

## 追加資料1：車両別被害件数

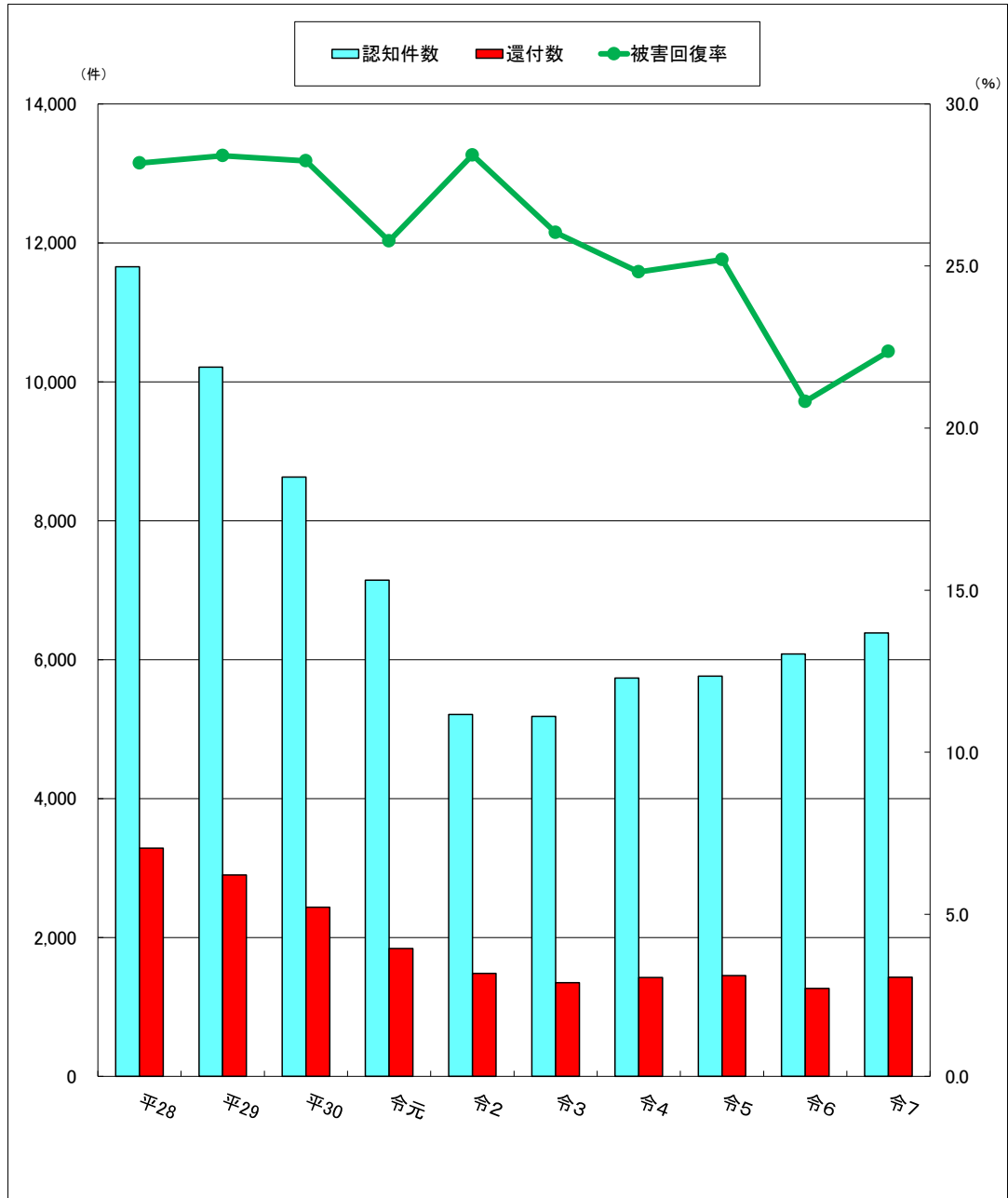


	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4	令5	令6	令7
<b>乗用自動車</b>	6,193	5,684	5,264	4,568	3,499	3,353	3,960	3,843	4,167	4,355
割合	57.8%	60.4%	65.8%	67.2%	71.7%	69.1%	75.6%	73.8%	77.0%	78.8%
<b>貨物自動車</b>	3,788	3,125	2,184	1,664	958	974	1,003	1,056	932	846
割合	35.3%	33.2%	27.3%	24.5%	19.6%	20.1%	19.1%	20.3%	17.2%	15.3%
<b>特殊自動車(建設用)</b>	319	274	198	228	154	212	103	130	99	105
割合	3.0%	2.9%	2.5%	3.4%	3.2%	4.4%	2.0%	2.5%	1.8%	1.9%
<b>特殊自動車(その他)</b>	315	228	293	284	228	265	142	135	170	179
割合	2.9%	2.4%	3.7%	4.2%	4.7%	5.5%	2.7%	2.6%	3.1%	3.2%
<b>その他の自動車</b>	106	100	64	49	44	47	31	45	44	42
割合	1.0%	1.1%	0.8%	0.7%	0.9%	1.0%	0.6%	0.9%	0.8%	0.8%

※ここでいう車両別被害件数は、自動車盗における各車両の被害件数であり、自動車盗以外の手口による被害件数は含まれていない。

※一つの事件で3品目以上の被害の場合、被害品数は3品目を限度として計上。よって、各車両が被害品として計上されていない場合があり得る。

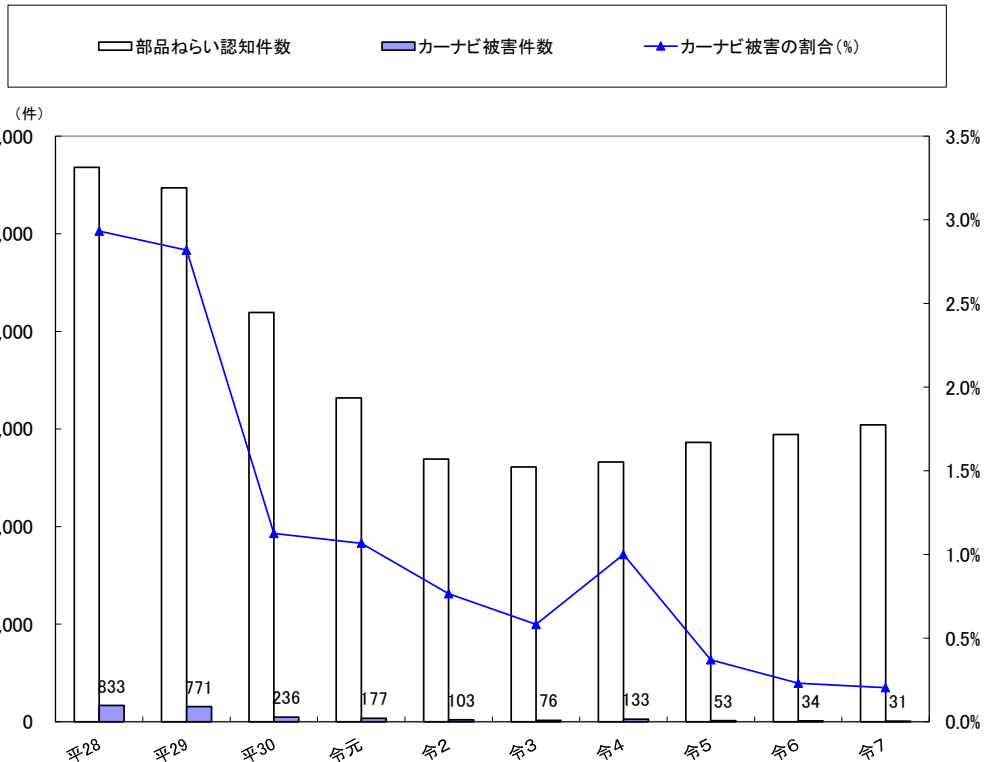
## 追加資料2：自動車盗の認知件数・還付数・被害回復率の推移



	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4	令5	令6	令7
認知件数	11,655	10,213	8,628	7,143	5,210	5,182	5,734	5,762	6,080	6,386
還付数	3,284	2,901	2,437	1,841	1,481	1,349	1,423	1,452	1,266	1,428
被害回復率	28.2	28.4	28.2	25.8	28.4	26.0	24.8	25.2	20.8	22.4

※被害回復率については還付年の認知件数を元にした数値である。

### 追加資料3：カーナビゲーションの被害件数



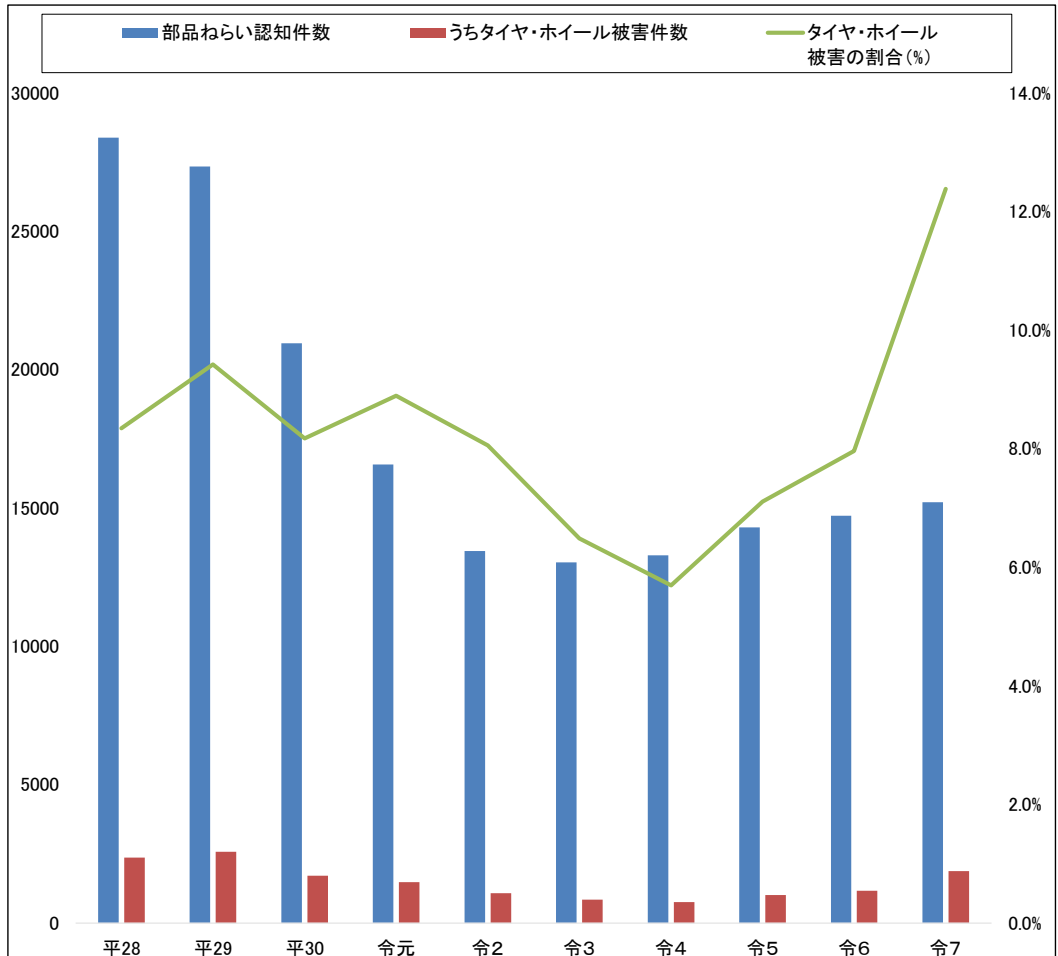
	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4	令5	令6	令7
部品ねらい認知件数	28,403	27,353	20,966	16,585	13,453	13,047	13,301	14,310	14,724	15,216
うちカーナビ被害件数	833	771	236	177	103	76	133	53	34	31
カーナビ被害の割合(%)	2.9%	2.8%	1.1%	1.1%	0.8%	0.6%	1.0%	0.4%	0.2%	0.2%

※部品ねらいは、自動車、オートバイ、自転車等に取り付けられてある部品、付属品を窃取する手口である。

※ここでのカーナビの被害件数は、部品ねらいにおけるカーナビの被害件数であり、部品ねらい以外の手口によるカーナビの被害件数は含まれていない。

※一つの事件で3品目以上の被害の場合、被害品数は3品目を限度として計上。よって、カーナビが被害品として計上されていない場合があり得る。

### 追加資料4：タイヤ・ホイールの被害件数



	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4	令5	令6	令7
部品ねらい認知件数	28,403	27,353	20,966	16,585	13,453	13,047	13,301	14,310	14,724	15,216
うちタイヤ・ホイール被害件数	2,372	2,578	1,715	1,476	1,084	847	758	1,018	1,173	1,885
タイヤ・ホイール被害の割合(%)	8.4%	9.4%	8.2%	8.9%	8.1%	6.5%	5.7%	7.1%	8.0%	12.4%

※部品ねらいは、自動車、オートバイ、自転車等に取り付けられてある部品、付属品を窃取する手口である。

※ここでいうタイヤ・ホイールの被害件数は、部品ねらいにおけるタイヤ・ホイールの被害件数であり、部品ねらい以外の手口によるタイヤ・ホイールの被害件数は含まれていない。

※一つの事件で3品目以上の被害の場合、被害品数は3品目を限度として計上。よって、タイヤ・ホイールが被害品として計上されていない場合があり得る。

※タイヤ・ホイール被害に係る統計は、平成21年から開始している。

**「PARKING NOW」掲載情報提供のお願い**

事務局では皆様から「PARKING NOW」に掲載する情報の提供を募集しています。

以下の様な駐車場に係る情報がございましたら、是非ご連絡をお願いします。

- ・新規開場した駐車場や既存駐車場リニューアル事例等会員に参考になる情報
  - ・駐車場に関連する各種トピックス
  - ・駐車場を取り巻く自治体の動き
- など

**《連絡先》**

一般社団法人全日本駐車協会 ☎ 03-3528-8305

e-mail: info@japan-pa.com

# PARKING IN TOKYO

一般社団法人東京駐車協会

## ■ 令和8年度第1回定例理事会報告

- 日 時 令和8年4月14日(火)  
場 所 日本工業倶楽部会館 3階「中ホール」  
議 題

### 決議事項

1. 令和7年度事業報告及び計算書類の承認について
2. 令和8年度事業計画及び収支予算の承認について
3. 役員候補者の選任及び役付き理事の選定について
4. 令和8年第59回定期総会招集他について
5. 委員会委員長及び副委員長並びに委員の選任について
6. 就業規則ほか改定、並びに関連規程ほか制定について

### 報告事項

1. 会員異動について
2. 令和8年度各委員会検討事項について
3. 研修会等実施報告
4. (一社)全日本駐車協会関係事項について
5. 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告
6. その他

## ■ 令和8年度第2回定例理事会のご案内

- 日 時 令和8年5月13日(水) 15時30分～(予定)  
場 所 日本工業倶楽部会館(予定)

## ■ 令和8年度第3回定例理事会のご案内

- 日 時 令和8年11月24日(火) 16時～(予定)  
場 所 日本工業倶楽部会館(予定)

## ■ 令和8年第59回定期総会のご案内

当協会では、令和8年第59回定期総会を開催いたします。

- 日 時 令和8年5月13日(水) 16時～17時(予定)  
場 所 日本工業倶楽部会館(予定)

---

---

## ■ 諸会議等報告

---

---

○その他の会議等が下記の通り開催されました。

<大手町・丸の内・有楽町地区駐車環境対策協議会>

・大手町・丸の内・有楽町地区 地域ルール運営委員会(第84回)

令和8年3月17日(木)大手町ビル

---

---

## ■ 人事

---

---

[事務局人事]

[令和8年4月1日付]

佐藤 秀昭 事務局長付

[令和8年4月14日付]

佐藤 秀昭 事務局長

佐藤 恒仁 事務局長退任・常務理事付

以上

# ○ 委員会委員名簿

一般社団法人東京駐車協会

令和8年4月14日

委員会名	氏名	会社名等
総務	◎ 竹 歳 誠 ○新 渡 邊 覚 久保田 浩 二 小清水 勇 治 後藤 英 夫 三野 武 彦 渡部 義 治	三菱地所(株) (株)銀座パーキングセンター 八重洲地下街(株) 東京ガレーヂ(株) (株)藤久 東京ガレーヂ(株) (公財)東京都道路整備保全公社
組織	◎ 三野 武 彦 ○ 加藤 久 喜 池上 雅 美 大塚 康 広	東京ガレーヂ(株) (有)スカイ・ガレージ嶋屋 モビリスコンサルティング(株) a k i p p a (株)
企画	◎ 後藤 英 夫 ○ 加藤 久 喜 荻野 寿 人 木村 村 直 子 小清水 琢 治 新 玉井 克 彦 星原 久 哉 柳川 幸 介	(株)藤久 (有)スカイ・ガレージ嶋屋 丸ノ内ガラーチ(株) (株)虎ノ門実業会館 モビリスコンサルティング(株) 日本ガレーヂサービス(株) 日本パーキング(株) 森ビル(株) 三菱地所パークス(株)
広報	◎新 渡 邊 覚 ○ 河村 恭 臣 新 井野 雅 久 大 戸 喜 一 川久保 正 光 近藤 藤 慶 之 新 佐々木 隆 太 千 葉 一 平 石 学 人	(株)銀座パーキングセンター (株)虎ノ門実業会館 日本駐車場開発(株) (公財)東京都道路整備保全公社 東英興産(株) (株)IHIパーキングスクエア (株)東京国際フォーラム 三菱地所(株) 柳屋ビルディング(株) 三菱地所パークス(株)
調査研究	◎ 渡部 義 治 ○新 小清水 琢 一 新 井上 馬 敏 岩田 直 輝 遠藤 直 輝 小坂 知 弘 鈴木 郷 史 成田 清 志 花岡 大 輔 平 沢 敏 紀 増田 高 明	(公財)東京都道路整備保全公社 日本ガレーヂサービス(株) 日本信号(株) アマノ(株) (株)富士ダイナミクス 三菱プレシジョン(株) タイムズ24(株) 首都高速道路(株) 三菱地所(株) 東急ライフィア(株) 三菱地所パークス(株)
標識管理	◎ 久保田 浩 二 ○ 酒井 誠 里 新 及川 絵 一 宮崎 裕 一 村田 仁 史 若林 浩 樹 脇野 勲	八重洲地下街(株) (株)銀座パーキングセンター 三菱地所プロパティマネジメント(株) 新宿サブナード(株) (株)東京交通会館 (株)サンシャインシティ・ビルマネジメント (公財)東京都道路整備保全公社

(注) 氏名左側の◎は委員長 ○は副委員長を示す。

# — 事務局だより —

## ■ 令和7年度第3回理事会報告

日 時 令和8年1月23日(金) 15時30分～16時15分

場 所 日本工業倶楽部会館5階第6会議室

議 題

(決議事項)

1. 委員会委員の選任について

(報告事項)

1. 会員異動について
2. 各種活動報告並びに今後の予定について
3. 令和7年度上半期予算執行状況について
4. 委員会報告
  - (1)総務委員会
  - (2)企画委員会
  - (3)組織委員会
  - (4)調査研究委員会
  - (5)広報委員会
5. 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告
6. その他

## ■ 令和8年度第1回理事会報告

日 時 令和8年4月10日(金) 12時～13時53分

場 所 日本工業倶楽部会館3階中ホール

議 題

(決議事項)

1. 令和7年度事業報告及び計算書類の承認について
2. 令和8年度事業計画及び収支予算の承認について
3. 役員候補者の選任及び役付き理事の選定について
4. 令和8年第65回通常総会招集他について
5. 委員会委員長及び副委員長並びに委員の選任について

(報告事項)

1. 会員異動について
2. 令和8年度各委員会検討事項について

3. 団体パーキング保険について
4. 研修会等実施報告
5. 各地駐車協会近況報告
6. その他

---



---

## ■ 令和8年度第2回理事会のご案内

---



---

- 日 時 令和8年6月10日(水) 15時～(予定)
- 場 所 日本工業倶楽部会館(予定)

---



---

## ■ 令和8年第65回通常総会のご案内

---



---

当協会では、令和8年第65回通常総会を開催いたします。

- 日 時 令和8年6月10日(水) 15時30分～17時00分(予定)

- 場 所 日本工業倶楽部会館(予定)

- 議 題

(報告事項)

令和7年度事業報告

(決議事項)

第1号議案 令和7年度計算書類承認の件

第2号議案 令和8年度事業計画承認の件

第3号議案 令和8年度収支予算承認の件

第4号議案 役員選任の件

- 来賓挨拶

『総会外』

<講演会>(予定)

日時：同日 17時～18時

演題：(仮)日本における自動運転の可能性とモビリティ開発技術力の将来

講師：電動モビリティシステム専門職大学教授・学長上席補佐 古川 修(よしみ) 様

<意見交換会>(予定)

日時：同日 18時～19時30分

場所：同会館

<見学会>(予定)

6月11日(木)1日目

- ・(一財)つくば都市交通センター訪問→国土技術政策総合研究所他視察→意見交換会→ダイワロイネットホテルつくば(宿泊)

6月12日(金)2日目

- ・宿泊先→筑波山神社、伊能忠敬記念館ほか佐原街並み散策→東京駅(解散)



## ■ 新会員のご紹介

### 株式会社DefragWorks

#### ■ 会社紹介：

所在地：東京都渋谷区恵比寿西2-8-4 5階

代表取締役：三浦龍徳

お問い合わせ：<https://genba365.com/contact>

会社HP：<https://genba365.com/>

#### ■ 事業紹介：

私たち株式会社DefragWorksは、建設業界における課題解決を目的としたBPOサービス「現場365」を展開しています。その中でも、工事現場における短期駐車場の手配は、私たちの原点であり、最も多くの現場を支えてきた領域です。単に「間」に入るだけではなく、契約後のサポートまで一貫して提供している点が、「現場365」の大きな特徴です。工事現場で利用される駐車場は、不特定多数の人が出入りするため、定期的にトラブルが発生します。しかし「現場365」では、「パーキングケア365」という会員サービスを通じて、こうしたトラブルにも対応できる体制を整えています。

#### ■ パーキングケア365

工事現場における短期駐車場の契約では、無断駐車、車両損傷、設備破損、夜間トラブルなどが発生します。特に課題となるのが、設備や車両の破損が発生した際に、当事者が特定できないケースです。この点については、貸す側である不動産会社やオーナーからも、強い不満の声が寄せられてきました。「パーキングケア365」は、トラブル対応・補償・24時間対応を組み合わせることで、その空間で起きた事を保証するサービスです。

駐車場を「貸す側」「借りる側」の双方にとっての不安を解消し、双方が安心して利用できる仕組みを構築しています。

また、これまで短期利用のリスクを理由に貸し出しが難しかった駐車場についても、安心して提供できる環境を実現し、新たなキャッシュポイントの創出につながります。

## ■ 委員会報告

○委員会が下記の通り開催されました

「総務委員会」

開催日：令和8年3月30日(月)

場 所：全日本駐車協会会議室+オンライン

- ・令和8年第65回通常総会招集他について
- ・令和7年度事業報告について
- ・令和8年度事業計画及び収支予算について
- ・令和8年度各委員会検討事項について
- ・令和8年度委員会委員について
- ・その他

「組織委員会」

開催日：令和8年2月19日(木)

方 法：書面開催

- ・会員異動について
- ・共通サービス券について
- ・各地駐車協会訪問について
- ・団体パーキング保険について

「企画委員会」

開催日：令和8年3月10日(火)

場 所：全日本駐車協会会議室+オンライン

- ・令和8年新春駐車場研修会振り返りにについて
- ・令和8年春季駐車場研修会振り返りにについて
- ・令和8年第65回通常総会後の講演会、見学会について
- ・令和8年秋季駐車場研修会(海外)について
- ・70周年記念行事企画について
- ・その他

「広報委員会」

開催日：令和8年3月25日(水)

場 所：全日本駐車協会会議室

- ・PARKING第253号振り返りにについて
- ・PARKING第254号目次案について
- ・PARKING第255号以降目次案について

・ホームページリニューアルについて(機関誌電子化等)

・ホームページの運用状況について

・会員宛てメールの発信状況について

・その他

「調査研究委員会」

開催日：令和8年3月9日(月)

方 法：書面開催

・浸水アンケートに係る調査報告書について

## ■ 諸会議等報告

<国土交通省都市局>

・第2回全国駐車場需給調査検討会

令和8年3月3日(月)国土交通省会議室

<国土交通省住宅局>

・高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準に関するフォローアップ会議(第9回) オンライン会議

令和8年2月24日(火)

## ■ 会員動静

[入会]

(地区会員)

○会員名 七日町商店街振興組合(山形駐車協会)

代表者 玉井 優

所在地 山形県山形市七日町1-1-1

入会日 令和8年4月1日

(賛助会員②)

○会員名 株式会社Defrag Works(東京駐車協会)

代表者 三浦 龍徳

所在地 東京都渋谷区恵比寿西2-8-4 5F

入会日 令和8年2月28日

所在地 東京都江戸川区大杉4-7-21

退会日 令和8年3月31日

(準会員①)

○会員名 公益財団法人大阪府都市整備推進センター

代表者 田中 一史

所在地 大阪府大阪市中央区本町1-8-12  
オーク堺筋本町ビル10階

入会日 令和8年3月10日

○会員名 有限会社パインズパーキング(山形駐車協会)

代表者 松ノ井 治子

所在地 山形県山形市小立2-2-7

退会日 令和8年3月31日

(準会員②)

○会員名 株式会社オフィスプラント

代表者 浅井 孝純

住 所 兵庫県神戸市中央区下山手通2-15-10

入会日 令和8年2月10日

○会員名 新潟市(新潟駐車協会)

代表者 中原 八一(市長)

所在地 新潟県新潟市中央区学校町通1-602-1

退会日 令和8年3月31日

[退会]

(地区会員)

○会員名 株式会社横浜貿易ビル(横浜駐車場協会)

代表者 齊藤 宏之

所在地 神奈川県横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル

退会日 令和7年11月29日

代表者 田口 昌男

所在地 新潟県新潟市中央区川端町6-53

退会日 令和8年3月31日

○会員名 株式会社PMOプラス(東京駐車協会)

代表者 大嶋 翼

所在地 東京都渋谷区渋谷2-12-12 三貴ビル501

退会日 令和8年3月31日

○会員名 三菱地所パークス株式会社(新潟駐車協会)

代表者 吉田 恭彦

所在地 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館16階

退会日 令和8年3月31日

○会員名 有限会社エステイアール(東京駐車協会)

代表者 関口 典弘

○会員名 公益財団法人横浜市スポーツ協会(横浜駐車場協会)

代表者 山口 宏

所在地 神奈川県横浜市中区尾上町6-81 ニッセイ横浜尾上町ビル2階

退会日 令和8年3月31日

○会員名 明石駐車場協会(兵庫県駐車場協

会連合会)

代表者 林田 治彦

所在地 兵庫県明石市本町1-18-6 明石自  
家用自動車協会内

退会日 令和8年3月31日

代表者 重松 路威

所在地 東京都千代田区有楽町1-1-2 東  
京ミッドタウン日比谷 日比谷三  
井タワー32階

退会日 令和8年3月31日

○会員名 西日本高速道路株式会社 九州支  
社(福岡駐車協会)

代表者 加治 英希(九州支社長)

所在地 福岡県福岡市博多区博多駅東  
3-13-15

退会日 令和8年3月31日

(賛助会員②)

○会員名 合同会社DMM.com(東京駐車協  
会)代表者 代表社員 株式会社DMM.comホ  
ールディングス

職務執行者 亀山 敬司

所在地 東京都港区六本木3-2-1 住友不  
動産六本木グランドタワー24階

退会日 令和8年3月31日

○会員名 ジェイエムイー株式会社(東京駐  
車協会)

代表者 多胡 勝成

所在地 東京都港区赤坂6-3-16

退会日 令和8年3月31日

○会員名 南海電設株式会社(東京駐車協会)

代表者 岡野 馨(営業本部長)

所在地 東京都江東区東雲1-7-12

退会日 令和8年3月31日

○会員名 ニューラルグループ株式会社(東  
京駐車協会)

## ■ 人事

[事務局人事]

[令和8年4月1日付]

佐藤 秀昭 事務局長付

[令和8年4月10日付]

佐藤 秀昭 事務局長

佐藤 恒仁 事務局長退任・常務理事付

以上

### 表紙題材募集のご案内

事務局では、機関誌「PARKING」に掲載する表紙題材の提供を募集しています。以下の様な駐車場に係る情報がございましたら、是非ご連絡をお願いします。

- ・新規開場した駐車場や既存駐車場リニューアル事例等
- ・駐車場に関連する新築ビル、商業施設等

《連絡先》

一般社団法人全日本駐車協会

☎ 03-3528-8305 e-mail: info@japan-pa.com

### 全日本駐車協会 会員メールアドレス提供のお願い

当協会から会員の皆様宛の情報発信手段は、年4回の機関誌PARKING・ホームページ及び郵送に加えて、タイムリーかつ確実に行える連絡手段としてメールを活用しています。

メールアドレス未登録の会員の方は、ご担当者及びメール配信希望者のメールアドレス等をご提供いただきたくお願い申し上げます。記入票等につきましては下記担当者までお問合せ下さい。

一般社団法人全日本駐車協会事務局

e-mail: member@japan-pa.com

電話: 03-3528-8305 FAX: 03-3528-8306

担当: 松本、船津

**PARKING**

2026年 第254号

<非 売 品>

2026年4月30日発行

編集兼発行人 一般社団法人全日本駐車協会

一般社団法人東京駐車協会

東京都千代田区内幸町2-2-3

日比谷国際ビル地下1階

TEL 03(3528)8305

FAX 03(3528)8306

## 都内で駐車場を運営されている方へ 駐車場案内標識のご案内

一般社団法人東京駐車協会では、駐車場への案内をスムーズにし、「うろつき運転」を減らすことを目的として、都内で駐車場案内標識設置のお手伝いをしております。

### 公道への設置

- ・道路占用許可をはじめとする各種許可を得て、公道上(主に歩道)に駐車場案内標識を設置することができます。

### 申請は協会が

- ・必要な申請手続は東京駐車協会名で協会スタッフが行います。

### 設置工事は協会が

- ・規格に則り、施工会社、行政機関との調整を含めて当協会が設置工事を取り進めます。

### 会員料金

- ・東京駐車協会の会員であれば、諸費用や保証金に会員料金の適用があります。

### 助成金

- ・公益財団法人東京都道路整備保全公社による助成金制度を利用し、助成金の交付を受けることができます。  
(交付には条件がありますので、当協会までお問い合わせください。)



反射式駐車場名入り



反射式駐車場名なし



内照式

駐車場案内標識は、東京駐車協会の会員以外の方でも設置することができ、現在約400本の標識が都内に設置されています。

是非お気軽に当協会までお問い合わせください。

#### 〔駐車場案内標識に関するお問い合わせ先〕

一般社団法人東京駐車協会

担当者：坂口 sakaguchi@japan-pa.com

TEL：03-3528-8305

伸びゆく丸の内と、  
いつもいっしょに。  
丸の内パークイン

「丸の内パークイン」として  
20カ所・約4,700台の  
広域駐車場を運営

since  
1960

1960年 日本初の地下駐車場開業



<https://www.marunouchi.com/information/parking/>  
Tel.03-3212-0808

飲酒運転は法律で  
禁じられています。

Drunken Driving Prohibited by Law.

